市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-①	緊急物資備蓄事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	総務部防災危機管理班	事業実施(予定)年度	平成24～平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)
事業内容	災害時の市民の生活を支援するため、緊急物資の備蓄を行う。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	3,268	3,268			
	(b)予算現額	3,268	3,268			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	3,268	3,268			
B. 執行済額		5,024	3,268			
うち交付金充当額		4,019	2,614			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		153.7%	100.0%			
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施済み。 活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
非常食、飲料水等　約2000人分の備蓄	目　標	(　　)	(　2000人分　)	(　　)	(　　)
	実　績		2000人分		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明：今年度は、①粉ミルク(スティック)638本、②粉ミルク(缶)10缶、③毛布100枚、④ラジオ18個、⑤ランタン10台、⑥カセットコンロ14台、⑦カセットボンベ18個、⑧やかん14個、⑨ブルーシート40枚、⑩避難所用間仕切り17個、⑪誘導灯26本、⑫非常用トイレ処理セッ16箱、⑬車いす7台、⑭脚立4本、⑮応急処置セット10セット、⑯圧縮タオル880枚、⑰飲料水2L　440本、⑱アルファ化米　白米1000食、⑲アルファ化米　五目ご飯3000食、⑳アルファ化米　梅かゆ1000食、㉑保存用ビスケット600食を購入した。

平成２７年度までに１３，０００人分の緊急物資備蓄を目標としており、今年度予定していた約５８％程度の備蓄を達成した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
非常食、飲料水等 約2,000人×3日分の備蓄を行う。	目　標	(　－　)	(　　)	(　2,000人分　)	(　　)	(　　)
	実　績			2,000人分		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明：最終目標、１３，０００人分の備蓄を予定しており今年度は約５，６００人分の備蓄を完了した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・備蓄に食料等については、消費期限の問題があり、どのように管理し、入れ替えを行うか留意しなければならない。 ・地域防災計画の修正を行ったので、内容に沿った計画に留意しなければならない。 ・防災センター等の施設が建設予定の為、施設への備蓄についても検討留意しなければならない。	・消費期限の近い、食料や飲料水等については、防災訓練等を実施し、訓練の中で活用するなど無駄にならない様利用し、入れ替えを行う。粉ミルク等については、保育所や保健センターなどと連携を図り、乳幼児へ配布をう。 ・訓練や防災備蓄に関しての情報を収集し取り入れたい。

今後の取り組み方針

平成２５年度事業は予定どおり完了しており、平成２６年度は防災センター等が竣工予定の為、同施設への備蓄品も含めて備蓄に向けて取り組んでいく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,268	3,268	2,614	654	

宮古島市 3，268千円 → 需用費 3，268千円 → 株式会社OCC 3，268千円 （緊急物資備蓄事業）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・指名競争入札にて選定しており、妥当であったと考える。 ・予定していた事業は全て実施済みであり予算規模は適切であった。 ・費目については、消耗品費のみであり支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-②	海抜表示委託事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	総務部防災危機管理班	事業実施(予定)年度	平成24～平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)
事業内容	市民が居住地付近の標高を的確に把握し、災害時に迅速に避難出来るよう、海抜表示を市内各地区に設置する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,259	1,300			
	(b)予算現額	1,259	1,300			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	0			
	A. 計(b+d)	1,259	1,300			
B. 執行済額		1,259	1,297			
うち交付金充当額		1,007	1,037			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%	99.8%			
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施済み。 活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
海抜表示の設置	目　標	（６９箇所）	（７０箇所）	（　）	（　）
	実　績	６９箇所	６６箇所		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：市街地を中心に設置予定(７０箇所)でしたが、設置箇所の調査の結果、海沿いに必要な箇所が一部あり、ある程度の距離から目視することができる大規格の看板を設置することが望ましいという判断から枚数を調整のうえ実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（２７年度）
海抜表示の設置	目　標	（－）	（６９箇所）	（７０箇所）	（　）	（３００箇所）
	実　績		６９箇所	６６箇所		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：宮古島市内３００箇所への設置を目標としており約４５%程度の設置を達成した。
電柱に海抜表示を行うことにより、普段の生活の中で市民が目にすることで海抜を確認でき、速やかな避難につながる。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	現在、宮古島市内には、本市が設置した海抜表示板と、民間事業者が設置した海抜表示板がある。	本市の海抜表示板の海抜高データは、沖縄県公開用地図情報システムを基にしており、民間事業者にも、同様のデータを基に作成･設置するよう協力を求めながら、設置、普及を図っていきたい

今後の取り組み方針

平成２５年度までに１３５箇所の海抜表示が設置完了しており、今後は平成２６年度に約７０箇所、平成２７年度に９５箇所の設置を予定している。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,297	1,297	1,037	260	

宮古島市 １，２９７千円 → 委託料 １，２９７千円 → ネオ･プランニング １，２９７千円 （海抜表示委託事業）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	･指名競争入札にて選定しており、妥当であったと考える。 ･予定していた事業は全て実施済みであり予算規模は適切であった。 ･費目については、消耗品費のみであり支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-④	伊良部地区防災センター整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	総務部防災危機管理班	事業実施(予定)年度	平成２５～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)
事業内容	海沿いに面した海抜の低い伊良部地区(南区)住民の、災害時における避難場所としての防災センター整備に向け実施設計を委託する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	15,000				
	(b)予算現額	15,000				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	0				
	A. 計(b+d)	15,000				
B. 執行済額		6,642				
うち交付金充当額		5,313				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		44.3%				
予算の状況の説明		当初、当該施設では研修室も兼ね備えた施設を検討していたが、地域の改善センターに隣接していたため施設の内容が変更となり、予算が縮小した。 活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
実施設計委託業務	目　標	（　実施設計　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	実施設計			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：海沿いに面した海抜の低い伊良部地区(南区)住民の、災害時における避難場所としての防災センター整備に向け、平成２５年度は設計委託業務行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
実施設計委託業務	目　標	（　－　）	（　実施設計　）	（　）	（　）	（　－　）
	実　績		設計委託業務完了			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：津波避難施設を建設するため、平成２５年度は、建築設計委託業務を完了した。今後の展開として平成２６年度内に津波避難施設の建設及び供用開始を目標としている。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	平成２５年度は、平成２６年度に完成を目指す伊良部地区津波避難施設の設計委託業務を行った。委託業者を指名競争入札によって適正に選定した上、予定していた設計委託業務を完了した。推進上の問題は無かった。	平成２５年度事業は予定通り完了しており、平成２６年度の伊良部地区津波避難施設建設・供用開始に向けて事業を進めていく。

今後の取り組み方針

平成２５年度事業で作成した設計を基に、平成２６年度内に津波避難施設の建設及び供用開始を予定している。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,642	6,642	5,313	1,329	

宮古島市 ６，６４２千円 → 委託料 ６，６４２千円 → 勝設計事務所 ６，６４２千円

（伊良部地区津波避難施設整備にかかる設計委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・指名競争入札にて選定しており、妥当であったと考える。 ・予定していた事業は全て実施済みであり予算規模は適切であった。 ・費目については、消耗品費のみであり支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－⑥	災害活動用の空気充填機購入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章　2（4）　イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	消防本部　総務課	事業実施（予定）年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１０－（2）
事業内容	本市を訪れる観光客の多くがマリンレジャーを楽しんでおり、海難事故に対する迅速な救助体制を構築することは、観光振興上非常に重要である。 また、本州から離島である沖縄本島のさらに離島である本市においては、大規模災害時等が発災した際に、本州及び沖縄本島から支援を受ける間の初動体制を構築しておく必要がある。 このような海難事故や大規模災害等の消防活動を適切に行う為、移動式空気充填機を整備する。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	5,136				
	(b)予算現額	5,136				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	－				
	A．計(b+d)	5,136				
B．執行済額		5,040				
うち交付金充当額		4,032				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		98.1%				
予算の状況の説明		不要額が９６千円発生しているが、備品購入費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
空気充填機設備の整備	目　標	（移動式空気充填機の整備）	（　）	（　）	（　）
	実　績	移動式空気充填機の整備完了			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明	空気充填機を導入し、消防署内又は災害場所で空気ボンベに空気を充填する体制ができた。				

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
空気充填機設備の整備	目　標	（　）	（移動式空気充填機の整備）	（　）	（　）	（　）
	実　績		移動式空気充填機の整備完了			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	空気充填機を導入し、消防署内又は災害場所で空気を充填する事が出来ることにより、災害時の初動体制及び継続的な活動支援体制の強化が図られた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	修繕する業者が、宮古島市島内に無いため、沖縄本島に送る必要がある。	故障が発生しないように、日常点検及び定期点検を行う。

今後の取り組み方針

災害時の継続的な活動支援体制をとるためには、日々の訓練、日常点検及び定期点検を実施していき、緊急時には迅速な対応ができるようにすることで、市民及び観光客の救助体制を整えていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,040	5,040	4,032	1,008	

宮古島市
5,040千円
→ 備品購入費 5,040千円
→ 沖縄マリンスポーツ 5,040千円
（災害活動用の空気充填機購入）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札で行っており、選定方法によっては妥当である。 ○費目･使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	２－①	スポーツ観光交流拠点整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立
担当部課名	建設部都市計画課	事業実施(予定)年度	平成24～平成28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

年間を通して、軽スポーツが楽しめ、地域の伝統文化に親しむことができる全天候型のスポーツ･伝統文化交流拠点施設を整備する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	33,375	-	30,000		
	(b)予算現額	33,375	-	62,360		
	(c)増減額(b-a)	0	-	32,360		
	(d)繰越額	―	33,375	―		
	A. 計(b+d)	33,375	33,375	62,360		
B. 執行済額		0	33,375	62,360		
うち交付金充当額		0	26,700	49,888		
次年度繰越額		33,375	0	0		
執行率（%）(B/A)		0.0%	100.0%	100.0%		

予算の状況の説明：当初事業予定地より敷地位置が変更となり、それに伴い建設予定地の敷地造成設計の委託業務が必要となったことや、施設の配置計画及び構造等に関する検討等が必要となったことから予算を増額し執行した。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
実施設計委託業務	目　標	（調査･設計委託）	（実施設計）	（　）	（　）
	実　績	調査･設計委託	実施設計		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：建設予定箇所の土質調査、用地測量、進入路設計等の業務を行い、施設の実施設計(建築)及び施設の敷地造成工事設計(土木)を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
実施設計委託業務	目　標	（基本計画策定）	（調査･設計業務）	（実施設計）	（　）	（施設整備完了）
	実　績		調査･設計業務	実施設計		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：建設予定地の土質調査、用地測量を行った上で、進入路設計を完了した。さらに施設の実施設計を行い、併せて敷地造成工事の設計を完了し、法令関係手続き準備を進めている。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①施設建設予定地は宮古空港に近接していることから、施設の形状や外部使用資材について関係機関との調整を要する。 ②周辺に林地が多く見られることから、周辺環境との景観調和に配慮する必要性がある。 ③エコアイランド宣言に即した自然エネルギーの活用を積極的に取り入れるよう計画する。	①本市の空港課を通して県空港課へ資料及び図面を提出し、丁寧に協議を行っていく。 ②周辺地域の環境・景観との調和について、施設周辺及び進入路へ宮古島を象徴するような亜熱帯植物の植樹計画を更に進める。 ③自然エネルギーの活用のみならず、省エネに関する検討も更に進めていく必要がある。

今後の取り組み方針

・現在計画している内容を実施に向け進めていく上で、各関係機関との調整をH26年度に集中して進めておく。
・施設整備後の新たなイベント誘致等、関係部署と連携して準備を進めておく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
62,360	62,360	49,888	12,472	

宮古島市
62,360千円
→ 委託料
62,360千円
→ (株)国建・岳設計ＪＶ
62,360千円
（スポーツ観光交流拠点施設設計委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は本市に入札参加申請を行っている事業者の中から選定し、指名競争入札にて落札した事業者であり、妥当であると考えている。 ・費目・使途については事業実施に際し必要なのか等、支出に関する書類により確認を行い適正であった。。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-②	熱帯植物園再生事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-⑫ア 観光リゾート産業の振興
担当部課名	観光商工局　商工物産交流課	事業実施(予定)年度	平成24年度～平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-⑴
事業内容	熱帯植物園の集客機能を向上させる為、遊歩道の設置と熱帯花木の植栽等を実施し、集客力のある施設として再生を図る。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	3,000	55,000			
	(b)予算現額	2,657	60,400			
	(c)増減額(b-a)	▲ 343	5,400			
	(d)繰越額	－	－			
	A. 計(b+d)	2,657	60,400			
B. 執行済額		2,657	59,726			
うち交付金充当額		2,125	47,780			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	98.9%			

予算の状況の説明：不用額も無く、当初計画していた事業内容は実施しており、達成状況を鑑みても適正であったと考える。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
熱帯植物園集客機能の向上 遊歩道の整備：0.5km	目　標	（　1km　）	（遊歩道の整備：0.5km）	（　）	（　）
	実　績	工事設計作成	遊歩道の整備：0.8km		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：熱帯植物園の機能向上を目的として、遊歩道の整備･熱帯花木の植栽を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
熱帯植物園の来客数の増加	目　標	（　）	（45,000人）	（50,000 人）	（　）	（　）
	実　績		（50,615人）	（51,721人）		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：熱帯植物園の遊歩道において、歩行が困難な状態及び管理車両が入れない状態であったが、整備を実施した事により1部供用開始が可能となり、誘客施設として機能向上に繋がった。平成26年度も引き続き遊歩道の整備、熱帯花木の植栽を実施する。

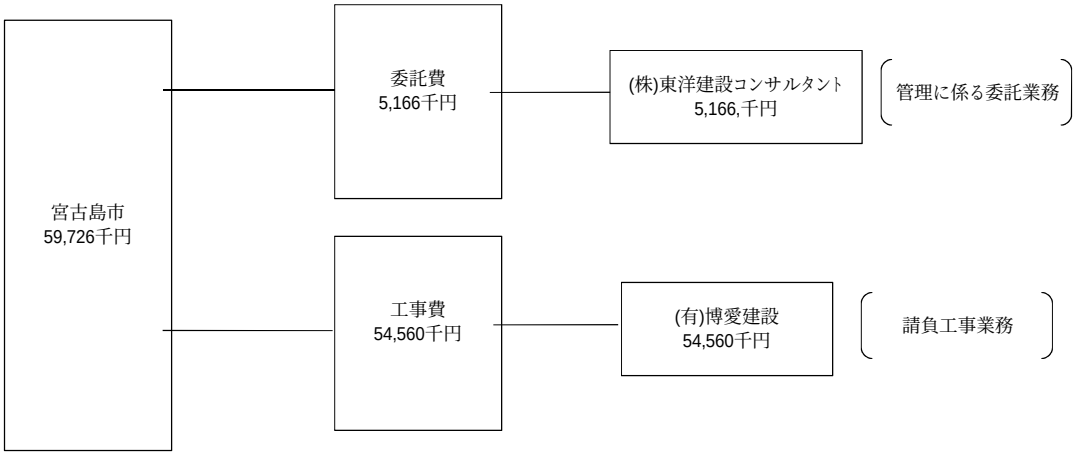
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	事業を執行していく中において特に問題はないが、次年度整備予定の遊歩道においては、以前、本市観光協会にて実施していた【新婚の森】事業で植樹した樹木が多数あり、調整が必要である。	【新婚の森】事業は、誘客誘客企画の一つとして実施していた事業であり、植樹樹木を回避するような形での整備を実施することにより、企画参加者の再度来園による集客、園内の機能向上に繋がる。

今後の取り組み方針

次年度も、平成25年度に引き続き遊歩道及び熱帯花木の植栽を実施し、熱帯植物園の機能向上に努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
59,726	59,726	47,780	11,946	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事事業者は指名競争入札を実施し、受託者を選定しており、妥当であったと考える。 ○費用・使途については、完了検査にて確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	２－③	伊良部島･下地島間入江整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章－3－(4)－ウ 県域の特色を生かした産業の振興
担当部課名	伊良部支所　地域づくり課	事業実施(予定)年度	平成24年度～平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

伊良部島･下地島間の入江を観光資源として最大限に活用するため、周辺水域の水質調査を踏まえて、入江の再生及び利活用を推進するため
平成２５年度は、調査測量、排水処理施設の検討を行った。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	4,700	5,750			
	(b)予算現額	4,700	25,620			
	(c)増減額(b-a)	0	19,870			
	(d)繰越額	―	-			
	A. 計(b+d)	4,700	25,620			
B. 執行済額		4,515	25,095			
うち交付金充当額		3,612	20,076			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		96.1%	98.0%			

予算の状況の説明：不用額が525千円発生しているが、委託費の入札残であり予算は適正に執行された。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
基本計画策定	目　標	（基本計画策定）	（基本計画策定）	（　）	（　）
	実　績	基本計画策定	調査測量		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：今年度の目標として、基本計画の策定を挙げているが、基本計画は平成２４年度に策定されており誤って目標を掲げた。今年度は、伊良部島･下地島間入江整備事業調査測量、底質調査、排水処理施設の検討を実施し、計画通り完了した。事業を実施したことにより、伊良部島･下地島間の入江の状況を把握し、次年度以降の計画につなげることができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
基本計画策定	目　標	（　）	（基本計画策定）	（基本計画策定）	（　）	（　）
	実　績		基本計画策定	調査測量		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：今年度は基本計画に基づき、調査測量、底質調査、排水処理施設の検討を実施した。調査測量、底質調査及び排水処理施設の検討結果を基に、平成２６年度は、希少生物の調査、排水処理施設実施の設計、水路の作澪工事を実施する。今後は入江の利活用図り観光資源として活用して行く。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	平成２６年度は、水路の作澪を開始するので岩礁破砕手続きが必要である。	事業を予定通り進める為宮古島３漁協の同意を得て、沖縄県知事の承認を得る必要がある。

今後の取り組み方針

今後の取り組みとして、作澪工事の前に宮古島漁協の総会の同意を得て、県知事に岩礁破砕申請を行い、併せて希少生物調査を実施し、排水処理施設の設計を行う。今後は、入江の再生を図り観光資源として活用して行きたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
25,095	25,095	20,076	5,019	

宮古島市
２５，０９５千円

委託料
２５，０９５千円

（有）地建・
（株）沖縄環境分析センター設計共同体
代表者　砂川博昭
２５，０９５千円

調査測量業務
(有)地建
(株)沖縄環境分析センター

内訳
・測量業務　21,526千円
・排水処理検討調査
（底質）　926千円

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定は、宮古島市建設工事等入札事務処理要綱により、指名競争入札を径て選定しており妥当である。 ○予算規模は、積算基準を適用しており適正である。 ○費目は、委託料、工事費のみであり必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	２－④	宮古島市neo歴史文化ロード整備事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－（２）－ア 国際的な沖縄ブランドの確立
担当部課名	生涯学習部生涯学習振興課	事業実施（予定）年度	平成24年度～平成28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（１）
事業内容	「宮古島らしさ」に特化した文化財を中心に伝説と民話に彩られたロマンあふれる散策コースを整備し、新たな観光資源として広く活用する。 平成25年度は、下地・来間地区を中心とした新規コースの策定及びコース物件の整備を行う。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	38,000	29,450			
	(b)予算現額	38,000	72,742			
	(c)増減額(b-a)	0	43,292			
	(d)繰越額	－	－			
	A．計(b+d)	38,000	72,742			
B．執行済額		37,998	72,735			
うち交付金充当額		30,398	58,188			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明	・当初計画より特に大きな変更はなく、事業の執行を完了した。					

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
歴史・文化ロードの整備 1）新規コースの策定	目　標	（1件）	（2件）	（　）	（　）
	実　績	1件	2件		
歴史・文化ロードの整備 2）コースパンフレットの配布	目　標	（1,000部）	（12,000部）	（　）	（　）
	実　績	12,000部	24,000部		
歴史・文化ロードの整備 3）コース案内板等の設置	目　標	（16基）	（20基）	（　）	（　）
	実　績	22基	31基		
歴史・文化ロードの整備 4）文化財web公開システムの構築	目　標	（－）	（1件）	（　）	（　）
	実　績	－	1件		
歴史文化ロードの整備 5）物件の復元	目　標	（3件）	（1件）	（　）	（　）
	実　績	2件	1件		

達成状況説明

・新規コースは、「平良北コース」及び「下地・来間コース」の策定を完了した。
・散策パンフレットについては、平成24年度実績を基に、平成25年度策定の2コース各12,000部作成した。市関連施設及び観光拠点施設、空港、ホテル、レンタカー事業所などに配布し周知を図る。
・案内板等の設置については、平成25年度に運用を開始した、宮古島市文化財WEB公開システムアプリケーション「綾道」と連動したものとなるよう、QRコード対応の案内板等を設置した。
・復元工事の実施については、物件数は1件と昨年度より減少しているが、復元にかかる工事範囲が広いためである。

成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
	歴史・文化ロードの整備 1)新規コースの策定	目　標	(　－　)	(　1件　)	(　2件　)	(　　)	(　計10件　)
		実　績		1件	2件		
	歴史・文化ロードの整備 2)コースパンフレットの配布	目　標	(　－　)	(　1,000部　)	(　12,000部　)	(　　)	(　12,000部/コース　)
		実　績		12000部	24,000部		
	歴史・文化ロードの整備 3)コース案内板等の設置	目　標	(　－　)	(　16基　)	(　20基　)	(　　)	(　計300基　)
		実　績		22基	31基		
	歴史・文化ロードの整備 4)文化財web公開システムの構築	目　標	(　－　)	(　－　)	(　1件　)	(　　)	(　　)
		実　績		－	1件		
	歴史文化ロードの整備 5)物件の復元	目　標	(　－　)	(　3件　)	(　1件　)	(　　)	(　10件　)
		実　績		2件	1件		
	進捗状況説明	・平成25年度に運用を開始した、宮古島市文化財WEB公開システムアプリケーション「綾道」と公認ポータルサイトの活用により、個人で散策する観光客層からの問い合わせ(目的地に辿り着けない等)が改善されると見込んでいる。また、アプリケーションにおいては、映像コンテンツによる現地での説明などにより、文化財担当職員による案内がなくても、それぞれの都合(滞在時間や移動距離など)で充実した散策ができるようになると見込んでいる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・整備したコースの管理について、文化財の特性上、定期的及び継続的な管理(コース物件の清掃等)が必要である。また、そうでなければ観光客の受入体制の整備が成り立たない。 ・システムの構築については、専門的な内容に偏らないよう、常に幅広い対象層が「親しみやすい」「わかりやすい」「使いやすい」ものとなるよう留意する。	・コース物件のうち、事業の方針に基づく観光需要に資するために必要な管理については、業務委託等により定期的かつ継続的に実施できるよう取り組みを継続する。 ・システムの構築については、「宮古島でしか体験できない。このシステムだけの特別な機能」の充実を図り、歴史文化に特化しつつ、幅広い対象層に継続して活用されるものとしていくため、都度の更新、コンテンツの追加を図っていく必要がある。

今後の取り組み方針

・物件の清掃については、事業の方針に基づく観光需要に資するために必要な範囲(年4回程度)で実施する。
・パンフレットを含め、この事業の周知について、市観光部局、観光協会等との連携を図り、島外及び県外からの修学旅行等の対象層においても、学習教材として活用されるような取り組みを検討する必要性を感じる。
・システムの多言語化を視野に入れた場合、国内キャリアに対応しない通信端末(タブレット等)を使用する外国人観光客層にシステムの活用を推進するにあたっては、Wi-Fiスポットの整備などインフラ整備が不可欠となると考える。これについては、市企画調整課、情報政策課とも連携を図りたい。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
72,735	72,735	58,188	14,547	0

宮古島市 neo歴史文化ロード 整備事業 72,735千円

- 需用費 1,997千円
  - 有限会社アプロ 1,997千円 （印刷製本に係る請負業務）
- 委託料 47,668千円
  - 株式会社アーキジオ 12,039千円 （調査支援（資料整理）に係る業務委）
  - 恵工務店 472千円 （コース環境整備に係る業務委）
  - 宮古テレビ株式会社 9,540千円 （公開システムに係る映像コンテンツ作成業務委託）
  - 宮古島市シルバー人材センター （物件環境整備に係る業務委託）
  - 山田光（イラストレーター） 2,100千円 （散策パンフレットデザインレイアウトに係る業務委託）
  - 株式会社八島建設コンサルタント 16,800千円 （宮古島市WEB公開システムの構築（GIS及び公開システム並びにシステム台）
  - 城南開発 825千円 （コース環境整備に係る業務委託）
  - サン美術 4,820千円 （説明板等制作設置に係る業務委託）
  - 株式会社石勝エクステリア 320千円 （物件整備に係る業務委託）
  - 有限会社ティガネー 472千円 （3Dコンテンツ作成に係る業務委託）
- 工事請負費 23,070千円
  - 有限会社ティガネー 18,690千円 （文化財復元に係る工事請負）
  - 有限会社三島 1,737千円 （文化財原状回復に係る工事請負）
  - 城南開発 2,643千円 （文化財原状回復に係る工事請負）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託・請負事業者は指名競争入札及び随意契約で選定。文化財の特性上、業務には高度な専門性・技術が求められることを鑑みて適正であったと考えている。 ○本事業の成果達成のためには、コース策定の対象となる物件の復元整備等を実施することも重要であり、また、学術的研究の成果等を広い対象層向け周知することを目的とした内容のため、事業の達成のため真に必要不可欠なものであったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑤	与那覇湾環境総合整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(1)－イ
					陸域･水辺環境の保全
担当部課名	生活環境部環境衛生課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容	ラムサール条約に登録された与那覇湾の利活用についての総合的な整備計画を策定し、貴重な自然環境の有効活用を図る。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,000		5,000		
	(b)予算現額	1,000		15,000		
	(c)増減額(b-a)	0	0	10,000		
	(d)繰越額	－	1,000	0		
	A. 計(b+d)	1,000	1,000	15,000		
B. 執行済額		0	966	13,528		
うち交付金充当額			772	10,822		
次年度繰越額		1,000	0	0		
執行率（%）(B/A)		0.0%	96.6%	90.2%		
予算の状況の説明		･与那覇湾利活用基本計画策定のために策定委員会を開催し、事業の実施による各調査やアンケート結果の取りまとめ等を行い基本計画策定が行えたので、適正に実施出来たと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
･委員会の立ち上げ(20名)	目　標	（委員会の立ち上げ）	（　）	（　）	（　）
	実　績	委員会の開催			
･作業部会の立ち上げ(11名)	目　標	（作業部会の立ち上げ）	（　）		
	実　績	作業部会の開催			
･与那覇湾利活用基本計画策定	目　標	（与那覇湾利活用基本計画策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績	与那覇湾利活用基本計画策定			

達成状況説明	・ 調査の目標は達成でき、他に作業部会の開催や委員会の開催による与那覇湾利活用基本計画策定も実施出来た。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値(27年度)
･与那覇湾利活用基本計画策定	目　標	（　）	与那覇湾利活用基本計画策定		（　）	野鳥観察小屋学習観察館工事
	実　績		与那覇湾利活用基本計画策定			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	･各項目の調査を実施し、基本計画策定に取りまとめることが出来た。今後は野鳥観察小屋や学習観察館等の設置を図ることで、小中学校や地域住民の利用を含め観光コースとしての利用を計画する。

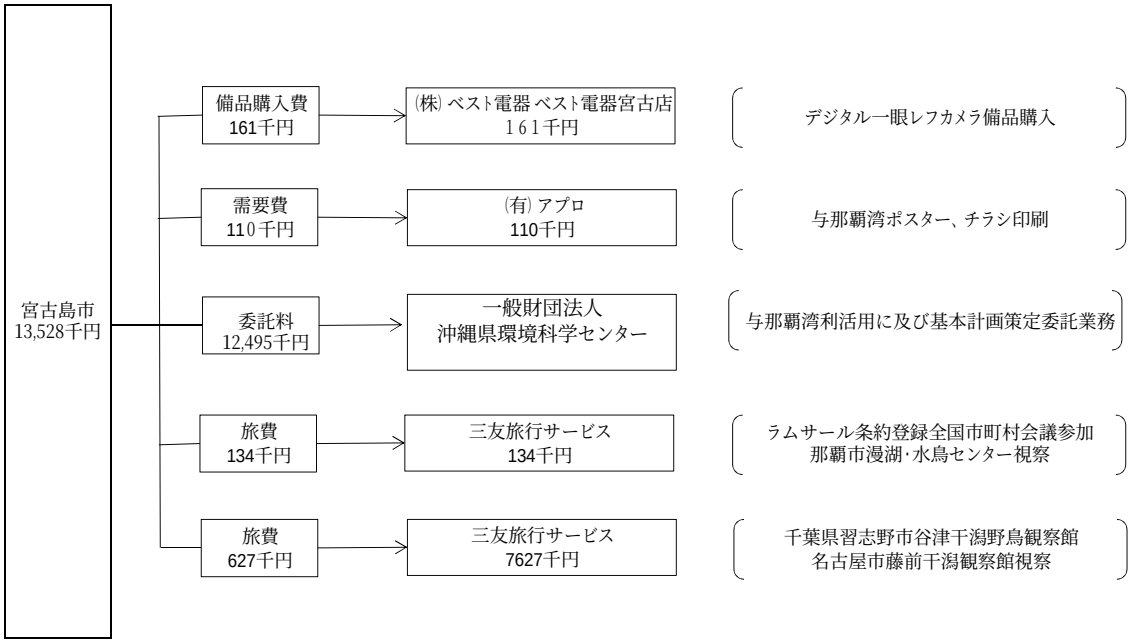
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・地域毎に与那覇湾の利活用に関して差違が多少あり、取りまとめやすり合わせが必要である。	・資料収集や調査ポイントの事前チェック、アンケート調査等の早期準備。

今後の取り組み方針

・基本計画策定に基づく野鳥観察小屋、自然学習観察館、遊歩道等の設置に取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
13,528	13,528	10,822	2,706	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は契約検査課による指名競争入札で選定されており妥当と考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要な備品購入や施設の視察を実施し支出等に関する書類により確認、適切であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	２－⑥	ハブクラゲネット設置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客受入体制の整備
担当部課名	建設部　都市計画課 建設部　港湾課	事業実施(予定)年度	平成２４年度～ 平成３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	夏場のビーチ内で猛毒を持つハブクラゲが発生し、海水浴客が刺される被害があったことから、ハブクラゲ防止ネットを設置し、海水浴客の安全を確保する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,000	4,218			
	(b)予算現額	997	4,218			
	(c)増減額(b-a)	▲3	0			
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	997	4,218			
B. 執行済額		997	4,168			
うち交付金充当額		798	3,334			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	98.8%			
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
ハブクラゲ侵入防止ネットの設置:120m 設置場所:みやこサンセットビーチ(ﾄｩﾘﾊﾞｰ地区海浜Ⅰ) 設置期間:ビーチ開設期間中(7月～10月)	目　標	(　)	(ネット購入・設置)	(　)	(　)
	実　績		ネット購入・設置		
ハブクラゲ侵入防止ネットの設置:200m 設置場所:パイナガマビーチ 設置期間:ビーチ開設期間中(6月～10月)	目　標	(ネット設置1カ所)	(ネット設置2カ所)	(　)	(　)
	実　績	ネット設置1カ所	ネット設置2カ所		
達成状況説明	・ハブクラゲネット侵入防止ネットを購入し設置することで、海水浴客の安全性を確保できた。(みやこサンセットビーチ) ・6月～10月に200mのハブクラゲ侵入防止ネットの設置を行うことができた。(パイナガマビーチ)				

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
ハブクラゲ刺傷被害者数(みやこサンセットビーチ)	目　標	(　)	(　)	(0)	(　)	(0)
	実　績			0		
ハブクラゲ刺傷被害者数(パイナガマビーチ)	目　標	(8)	(0)	(0)	(　)	(0)
	実　績		3	0		
進捗状況説明	ハブクラゲネット設置により、刺症者数を減らすことができた。					

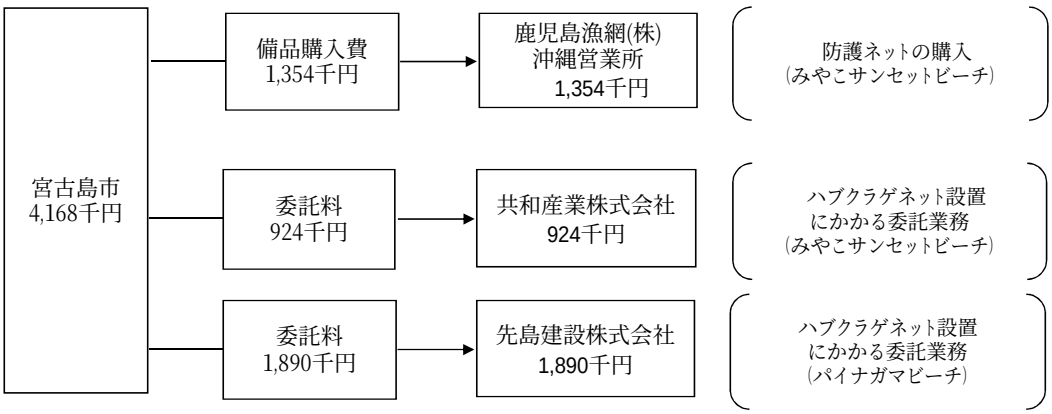
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・ハブクラゲネット設置期間は6月～10月までとなっていることから、海水浴シーズン初めの4月～5月間の刺症被害が懸念される。 ・みやこサンセットビーチは7月から10月の4ヶ月間を遊泳期間としているが、天候が良い日は期間外でも遊泳者がいるので期間の見直しを検討する必要がある。	・4月～5月には海開き及びゴールデンウィークがあるため、海開きに合わせて事前の設置が望ましく、それにより海水浴客の増加が見込まれる。 ・遊泳期間を6月から開始できないか検討。（みやこサンセットビーチ）

今後の取り組み方針

・刺症被害者が出ないように、設置期間を拡げるよう検討していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,168	4,168	3,334	834	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○備品購入は県内で計画規格ネットの取扱業者が限定されており、委託事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○計画のとおり事業執行されており、予算規模は適正であった ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑦	オニヒトデ駆除事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(1)－ア
					生物多様性の保全
担当部課名	観光商工局　観光課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

環境保全と観光客の安全性を確保するため、宮古島周辺に生息するオニヒトデ駆除を実施する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	5,005	6,647			
	(b)予算現額	5,005	6,647			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	0	0			
	A. 計(b+d)	5,005	6,647			
B. 執行済額		5,005	6,247			
うち交付金充当額		4,004	4,998			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	94.0%			

予算の状況の説明：業務委託に係る見積徴収で予算現額を下回ったため、不用額が生じた。予算の執行状況は適正であったと考える。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
オニヒトデ駆除作業実施回数	目　標	(25回)	(28回)	( )	( )
	実　績	25回	30回		
	目　標	( )	( )	( )	( )
	実　績				

達成状況説明：宮古島市の周辺海域において、オニヒトデの駆除を計３０回、駆除数にして７，６１７匹の駆除を行った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(２３年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	目　標	(0匹)	(8,000匹)	(9,000匹)	( )	( )
	実　績		8,245匹	7,617匹		
【参考指標】	目　標	( )	( )	( )	( )	( )
	実　績					

進捗状況説明：平成２５年度は7,617匹の駆除を行った。目標値を下回った要因としては、オニヒトデの絶対数が減少したのか、駆除予定箇所のオニヒトデが減少したのか、十分に把握できない部分があるので、ダイビングポイントにおけるオニヒトデの生息地域を把握することが重要であり、調査事業等も必要であると考える。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	一度駆除した場所でも、7日～14日間でオニヒトデが移動してきて珊瑚の食害が増える傾向にあり、継続的な駆除が必要である。殺傷事故防止についても、ダイビングポイントを考えると毎日する事が良いがそれは非現実的である。しかし、駆除を続けることにより、環境保全と観光客の安全性を確保する事に繋がり、継続性が重要である。	駆除ポイントを絞って集中的に駆除を行う。

今後の取り組み方針

調査事業により、生息地域の把握及び駆除方法の検討。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,247	6,247	4,998	1,249	0

宮古島市 → 委託料 → 宮古島美ら海連絡協議会 6，247千円（オニヒトデ駆除事業に係る委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はダイビング事業者で組織する4団体及び漁業協同組合3団体で構成されている。事業を実施するに当たり関係団体との連絡調整を行い業務を適正に運営管理し、円滑に実施出来ると考え、選定は妥当であったと考える。 ○費目・使途については事業報告書等により確認し適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	２－⑨	観光施設改修事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	観光商工局　観光課	事業実施(予定)年度	平成24年度～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（１）

事業内容	観光拠点施設である「うえのドイツ文化村」の老朽化が進み危険であるため、施設の改修を行い、観光客の安全性を確保するとともに、快適な施設利用を推進し、観光地としての宮古島のイメージアップを図っていく。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	46,000		20,000		
	(b)予算現額	46,000		16,300		
	(c)増減額(b-a)	0	0	▲ 3,700		
	(d)繰越額	―	44,073	―		
	A. 計(b+d)	46,000	44,073	16,300		
B. 執行済額		1,927	41,132	14,259		
うち交付金充当額		1,541	32,906	11,407		
次年度繰越額		44,073	0	0		
執行率（%）(B/A)		4.2%	93.3%	87.5%		

予算の状況の説明	当初計画していた事業内容は実施した。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であると考える。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
リフレッシュパーク(プール施設)の改修	目　標	(　1カ所　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	1カ所			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明	ドイツ文化村リフレッシュパークを改修することにより、来場者の快適な施設利用が図られた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(　年度)
リフレッシュパーク(プール施設)の改修の完了	目　標	(　)	(　1カ所　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		1カ所			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明	観光拠点施設である「うえのドイツ文化村」の施設改修を行い、快適な施設利用を促進し、観光地としての宮古島のイメージアップを図りながら、観光客の誘致に取り組んでいく。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	ドイツ文化村施設内には老朽化している施設がまだあり、魅力ある観光施設として更に機能強化を図っていく必要がある。	施設内に機能強化を図って行く必要のある箇所を抽出し、順次整備を進めていく。

今後の取り組み方針

観光拠点施設（うえのドイツ文化村）の施設改修を行い、観光客、地元住民の安全性を確保するとともに、快適施設使用ができることによって、観光地としての宮古島のイメージアップを図り観光客の誘致に取り組んで行くことが重要である。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
14,259	14,259	11,407	2,852	

宮古島市 ― 工事請負費 ― 有限会社 津覇古開発 14,259千円

（ドイツ文化村リフレッシュパーク改修工事）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札によって受託先を選定しているので妥当である。 ○予算規模についても事業計画書等の審査した結果、事業に見合った適正な規模となっている。 ○一件書類を確認した結果適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-⑪	屋外体育施設管理機械配備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-⑷-ウ 圏域の特色を生かした産業の振興
担当部課名	生涯学習部　市民スポーツ課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(1)

事業内容

スポーツキャンプ受入体制の強化のため、天然芝、野球グランドの整備に必要な機械を購入し、年間を通して芝生とグランドの質向上を図る

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	25,427				
	(b)予算現額	25,427				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	-				
	A. 計(b+d)	25,427				
B. 執行済額		17,697				
うち交付金充当額		14,158				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		69.6%				
予算の状況の説明		・当初予算に対し7,730千円の減となっているが、入札残が生じたためである。予定していた機械を購入することができ、予算は適正に処理された。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
管理機械配備	目　標	（天然芝管理機械の導入）	（　）	（　）	（　）
	実　績	天然芝管理機械の導入			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：天然芝管理用機械を10台(トラクター及び付属機械)の導入。天然芝を年間通じて良質な状態にするため、専門業者と連携し維持管理を行いサッカーキャンプ誘致につなげていきたい。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
管理機械配備	目　標	（　）	（天然芝管理機械の導入）	（　）	（　）	（　）
	実　績		天然芝管理機械の導入			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：天然芝管理用機械を10台(トラクター及び付属機械)の導入(平成26年3月27日納入)。次年度からは天然芝を年間通じて良質な状態にするため、専門業者と連携し維持管理を行いサッカーキャンプ誘致につなげていきたい。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①特殊な機械なので、素人には適切に機械を扱えない。	①専門業者等から本市職員に向けて機械の取り扱い方などの指導を受ける。 ②専門芝管理業者へ委託し、本市職員に向けて購入機械を使った芝管理作業の行程及び技術指導を受ける。

今後の取り組み方針

宮古島市民球場･宮古島市平良多目的運動場･宮古島市陸上競技場の天然芝を年間通じて良質な状態にするため専門技術業者と連携し、維持管理を行い芝管理に精通した人材の育成を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
17,697	17,697	14,158	3,539	

宮古島市
17,697千円

→ 備品購入費
17,697千円

→ ㈱砂川鉄工ヤンマー
17,697千円

機械購入名称
･スポーツトラクター８２８Ｈ
･バーチドレイン
･トップドレッサー
･パワースプレア
･ローダー
･ブロードカスター
･乗用ロータリーモアＸ７５０
･ハイバキューム
･フロントパワーサッチャー
･乗用リールモア

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○備品購入は、指名選定競争入札による結果で有り、妥当であったと考えられる。 ○芝管理に関する必要な機械を購入しており、予算規模は適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	３－①	観光地アクセス道路環境美化強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 3 (2) ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	建設部道路建設課 建設部伊良部建設室	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(1)
事業内容	美しい島づくりを推進するため、観光地へのアクセス道路の環境美化を図る。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	37,770		27,405		
	(b)予算現額	35,119		27,405		
	(c)増減額(b-a)	▲ 2,651	0	0		
	(d)繰越額	－	17,528	－		
	A. 計(b+d)	35,119	17,528	27,405		
B. 執行済額		17,184	10,974	23,845		
うち交付金充当額		13,274	8,779	19,076		
次年度繰越額		17,528	0	0		
執行率（%）(B/A)		48.9%	62.6%	87.0%		
予算の状況の説明		・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
観光アクセス道路の環境美化路線数(33路線)	目　標	(　３３路線　)	(　３３路線　)	(　　)	(　　)
	実　績	３３路線	３３路線		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績				

達成状況説明：・当初計画していた、観光地へのアクセス道路３３路線の清掃を定期的に実施することにより、環境美化を図った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
観光アクセス道路の環境美化路線数(33路線)	目　標	(　　)	(　３３路線　)	(　３３路線　)	(　　)	(　　)
	実　績		３３路線	３３路線		
	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					

進捗状況説明：・当初計画していた事業内容については、達成することができた。
・清掃作業を継続することで観光地アクセス道路の環境美化を図る。

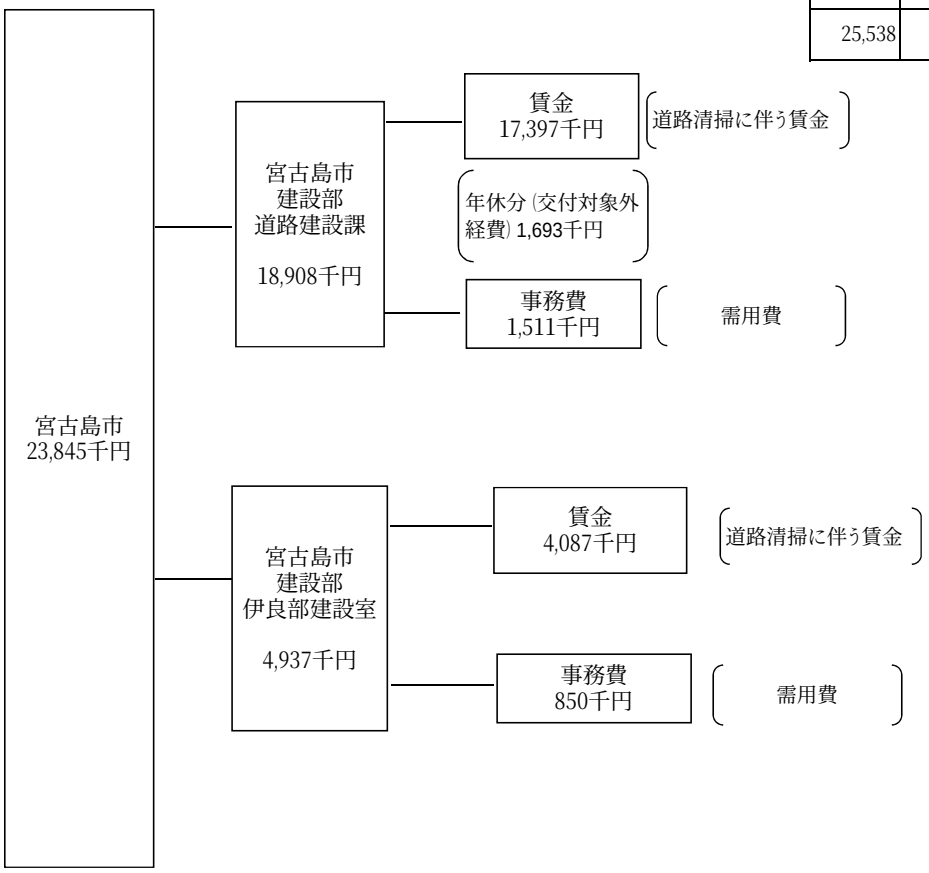
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・宮古島本島においては、活動目標及び成果目標を達成しており現時点においての課題はないが、伊良部島については、清掃作業が雑草の生育に追いつかない状況が見られた。	・宮古島本島においては、活動目標及び成果目標ともに目標を達成しており、特に改善を要しないが、伊良部島においては、清掃作業回数を増やす等の改善が必要である。

今後の取り組み方針

宮古島本島においては、引き続き同様の業務を実施し、伊良部島においては清掃作業の回数を増やす等の改善を行い、観光地アクセス道路の環境美化を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
25,538	23,845	19,076	4,769	1,693



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出等に関する書類により確認しており、妥当と考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・活動目標、成果目標を達成しており予算規模は適正であった。
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途については、支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	３―②	観光地公園環境美化強化事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第３章－３－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	建設部都市計画課	事業実施(予定)年度	平成２４年度～平成３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(1)
事業内容	美しい島づくりを推進するため、観光地として多く利用されている4公園の環境美化を図る。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	4,870	11,985			
	(b)予算現額	4,740	11,985			
	(c)増減額(b-a)	▲ 130	0			
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	4,740	11,985			
B. 執行済額		4,740	11,985			
うち交付金充当額		3,792	9,588			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		･当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
観光地の公園の環境美化 箇所数　4箇所(東平安名崎公園･パイナガマ公園･カママ嶺公園)	目　標	(　3カ所　)	(　4カ所　)	(　　)	(　　)
	実　績	3カ所	4カ所		
定期的美化作業:月1回以上	目　標	(　月1回以上　)	(　月1回以上　)	(　　)	(　　)
	実　績	月1回以上	月1回以上		
達成状況説明	観光地公園の4カ所(東平安名崎公園、パイナガマ公園、カママ嶺公園、大嶽城址公園)について月1回以上の美化作業を実施し、年間を通して観光客を受け入れる環境を保つことができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
観光地の公園の環境美化 箇所数　4箇所(東平安名崎公園･パイナガマ公園･カママ嶺公園)	目　標	(　　)	(　3カ所　)	(　4カ所　)	(　　)	(　　)
	実　績		3カ所	4カ所		
定期的美化作業:月1回以上	目　標	(　　)	(月1回以上)	(月1回以上)	(　　)	(　　)
	実　績		月1回以上	月1回以上		
【参考指標】	目　標	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)	(　　)
	実　績					
進捗状況説明	観光地公園の4カ所(東平安名崎公園、パイナガマ公園、カママ嶺公園、大嶽城址公園)について月1回以上の美化作業を実施することにより、今後も観光誘客地として利活用する環境(名勝地、イベント開催地等)を整える。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	観光地公園の4カ所（東平安名崎公園、パイナガマ公園、カママ嶺公園、大嶽城址公園）について月1回以上の美化作業による環境美化推進を達成しており、現時点で清掃の実施方法については特に課題はない。	観光地公園の4カ所の美化作業において課題があがっておらず、環境美化推進も達成できていることから、現状において改善の必要はないものと考える。

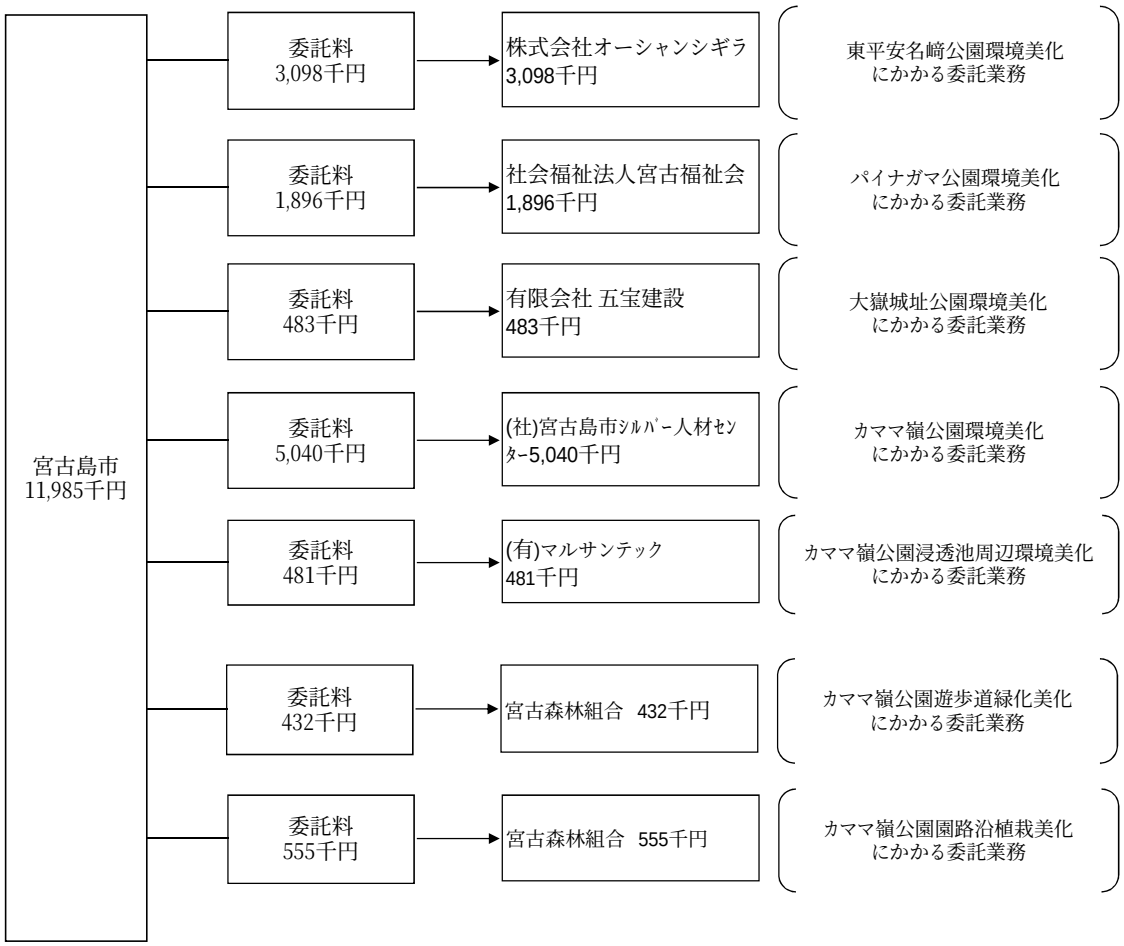
今後の取り組み方針

美しい島づくりを推進するため平成26年度も引き続き業務を実施し、観光地公園美化を図る。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,985	11,985	9,588	2,397	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札方式･随意契約方式により企業組織、実績、知識、優位性、特殊性（地方自治法施行令第167条の2第1項）等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○計画のとおり事業執行されており、予算規模は適正であった　○費目･使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	３－③	大嶽城址公園環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(6)－イ 花と緑あふれる県土の形成
担当部課名	建設部都市計画課	事業実施(予定)年度	平成２４年度～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	本市で最も高台に位置する大嶽城址公園内に花木を植栽し、観光公園としての整備を図る。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	4,000	－	10,000		
	(b)予算現額	4,000	－	7,649		
	(c)増減額(b-a)	0	0	▲ 2,351		
	(d)繰越額	－	4,000	0		
	A. 計(b+d)	4,000	4,000	7,649		
B. 執行済額		0	3,307	7,649		
うち交付金充当額		0	2,646	6,119		
次年度繰越額		4,000	0	0		
執行率（%）(B/A)		0.0%	82.7%	100.0%		
予算の状況の説明		・当初計画では実施設計及び公園の植栽整備を実施する予定であったが、計画変更により委託期間の追加延長があったため実施設計のみを実施した。今年度で予定していた植栽整備が実施できなかったため当初予算に対し2,351千円の減となっている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
観光地の形成(観光公園の整備) 観光公園内の花木植栽整備に係る実施設計及び植栽整備	目　標	（　調査検討　）	（実施設計・植栽整備）	（　）	（　）
	実　績	調査検討	実施設計		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：平成26年3月までに実施設計を行い、報告書としてまとめた。
地域からの要望等により、植栽設計のに公園内の詳細な植生調査や土壌調査の調査設計が生じたたこと、進入路拡幅による計画変更で実施設計委託の追加延長が生じたことにより事業期間を費やしたため、実施設計迄は完了したが、植栽整備は実施できなかったため目標は一部未達成。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
観光地の形成(観光公園の整備) 観光公園内の花木植栽整備に係る実施設計及び植栽整備	目　標	（　）	（実施設計）	（実施設計・植栽整備）	（　）	（　）
	実　績		調査設計	実施設計		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：地域からの要望等により、植栽設計のに公園内の詳細な植生調査や土壌調査の調査設計が生じたたこと、進入路拡幅による計画変更で実施設計委託の追加延長が生じたことにより事業期間を費やしたため、実施設計迄は完了したが、植栽整備は実施できなかったため目標は一部未達成。実施設計に基づき、平成26年度から平成28年度にかけて整備工事を行う。

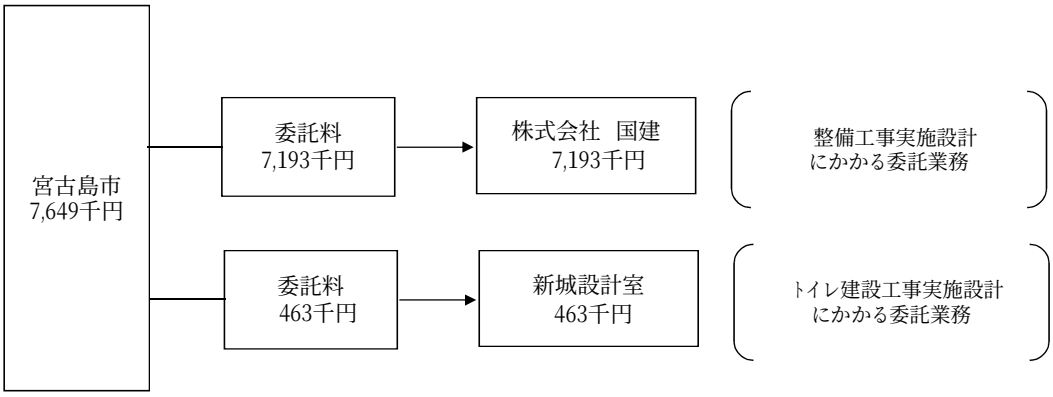
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・公園施設と景観面の課題（現況と観光地としてのあり方） ・公園としての歴史、固有性に係る課題（魅力の確認・発信） ・貴重な自然植生の保存に係る課題（保存形成・再整備との調和）	・最大の景観阻害要因となっているアプローチ道路のコンクリート斜面と密集した樹木による暗い閉塞感を改良し「花の名所」にふさわしい修景植栽の整備とする。 ・老朽化した園路及びトイレや駐車場を再整備し、バリアフリー対応を充実させ、アプローチ道路に歩道を設ける。 ・埋もれがちの石畳を文化財としての存在感を際立たせ、歴史的イメージを感じさせるながら史跡へと導く遊歩道の整備を行う。 ・天然記念物の自然樹林及び樹林内園路は、現況のまま保全し、やむをえないものは移植により保全を行う。

今後の取り組み方針

実施設計を基に、「花の名所」にふさわしい修景植栽の整備、老朽化した園路及びトイレや駐車場の再整備及びバリアフリー対応の充実とアプローチ道路への歩道設置、歴史的イメージを感じさせながら史跡へと導く遊歩道の整備、天然記念物の自然樹林及び樹林内園路の現況保全又は移植保全等に留意し、平成26年度から平成28年度にかけ整備工事を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,649	7,649	6,119	1,530	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○事業は予算規模は適正であった ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	３－④	花と緑のあふれる島づくり事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(6)－イ 花と緑あふれる県土の形成
担当部課名	農林水産部　　みどり推進課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	花と緑のあふれる島づくりを推進するため、花木、苗木等を安定的に供給できる施設を整備する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,000	－	4,000		
	(b)予算現額	1,000	－	4,000		
	(c)増減額(b-a)	0	0	0		
	(d)繰越額	－	1,000	－		
	A. 計(b+d)	1,000	1,000	4,000		
B. 執行済額		0	945	3,833		
うち交付金充当額		0	756	3,066		
次年度繰越額		1,000				
執行率（%）(B/A)		0.0%	94.5%	95.8%		
予算の状況の説明		当初は基本計画の策定を予定してたが、平成24年度事業(繰越)において実施した調査委託業務の結果、基本計画の策定に向けては基本計画策定の基となる施設管理面積の確定が必須と考え、計画を変更し測量業務を実施した。予算の執行については、適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
苗畑施設の基盤強化に係る基本計画の策定(施設管理面積の確定)	目　標	（基本計画策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績	測量委託業務			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：平成24年度事業は繰越で、苗畑基盤強化に関する調査委託業務を実施した。平成25年度は苗畑基盤強化に係る基本計画策定(基本設計)を計画しておりましたが、基本計画の基となる施設管理面積の確定の為に測量業務を行ったため、基本計画の策定ができず目標は未達成。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(33年度)
苗畑施設の基盤強化に係る基本計画の策定(施設管理面積の確定)	目　標	（　）	（基本計画策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績		測量委託業務			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成24年度事業は繰越で、苗畑基盤強化に関する調査委託業務を実施した。平成25年度は苗畑基盤強化に係る基本計画策定(基本設計)を計画しておりましたが、調査を行った結果、基本計画の基となる施設管理面積の確定の為に測量業務を行った。そのため平成25年度に予定した基本計画の策定を平成26年度に実施する事とした。
平成25年度事業により、測量業務は完了したため平成26年度に基本計画を策定する。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	平成２４年度繰越事業で実施した調査業務を踏まえて平成２５年度は基本計画を策定予定であったが、調査業務により現状を把握した結果、基本計画の基となる敷地面積確定のために測量業務を実施する必要が生じたため、平成25年度は３箇所の苗畑の測量業務を実施した。 そのため基本計画の策定は平成26年度に持ち越した。	測量業務を実施した事により管理面積を確定する事ができた。 平成２６年度においては、平成２４年度事業での調査業務、２５年度の測量業務の結果を踏まえ、苗畑施設の基本設計（基本計画）を行う。

今後の取り組み方針

平成２４年度事業の調査業務、平成２５年度の測量業務を基に、平成２６年度においては、苗畑基盤強化に関する基本設計（基本計画）業務を行う。
平成２７年度以降においては基本設計（基本計画）に基づき施設整備を行っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,833	3,833	3,066	767	0

宮古島市
３８３３千円
→
委託料
３８３３千円
→
（株）大協企画コンサルタント
３８３３千円
（苗畑基盤強化に関する測量委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は市の業者選定委員会において選定した７社による指名競争入札で落札した事業者であり、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	３－⑤	イムギャーマリンガーデン遊歩道改修事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	農林水産部　農政課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容

宮古島の美しい海岸線や入江を利用した海浜公園で、島内でも有数の観光地であり、遊歩道や展望台からは美しい海を見ることができ、散策にも最適である。
しかしながら平成5年の完成以来約20年が経過しているため、経年劣化の著しい遊歩道や手すり等の修復を行う為の測量設計を委託する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	12,960				
	(b)予算現額	12,960				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	0				
	A. 計(b+d)	12,960				
B. 執行済額		12,390				
うち交付金充当額		9,912				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		95.6%				

予算の状況の説明

・不要額が570千円発生しているが、業務委託を行う際の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施されており、適正であったと考えている。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
遊歩道や手すり等修復にかかる測量設計の実施	目　標	（測量設計の委託）	（　）	（　）	（　）
	実　績	測量設計の委託			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

遊歩道及び手すり等の改修に係る測量設計の委託業務を行い、次年度改修工事に向けての概要がつかめた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
遊歩道や手すり等修復にかかる測量設計の実施	目　標	（　）	（測量設計の委託）	（　）	（　）	（　）
	実　績		委託業務の完了			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

遊歩道及び手すり等の改修に係る測量設計の委託業務を完了し、26年度に改修工事の整備を図ることにより、安全･安心にイムギャーマリンガーデンの散策が出来るようになる。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	本事業を進める中において、特に問題は無いが、全体の経費が多すぎて一括での工事が難しい。	工事実施箇所の優先順位を検討し、複数年度に分けて工事を実施することでインギャーマリンガーデンを訪れる観光客の安全が図れる。

今後の取り組み方針

平成26年度においては、改修工事の優先区間を決定し、破損の著しい遊歩道及び手すり等の整備を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,390	12,390	9,912	2,478	0

宮古島市
12,390千円
→ 委託料 12,390千円
→ 株式会社　新生建設コンサルタント
（測量設計委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は10社による指名競争入札で落札した事業者であり、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については、完了検査により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4－①	誘客プロモーション事業（広告宣伝）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－イ 市場特性に対応した誘客活動の展開
担当部課名	観光商工局観光課	事業実施（予定）年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光地としての情報を積極的に発信し、入域観光客数50万人を達成するため、県外の鉄道車両等への広告宣伝活動を行うとともに、日本各地の地方都市で発刊されている地方紙を活用して、観光誘客のための宣伝活動を行う。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	25,721	18,085			
	(b)予算現額	25,473	18,085			
	(c)増減額(b-a)	▲ 248	0			
	(d)繰越額	－	－			
	A. 計(b+d)	25,473	18,085			
B. 執行済額		25,473	17,348			
うち交付金充当額		20,378	13,877			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	95.9%			
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容は概ね実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。				

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
全国郷土紙連合9社への新聞広告宣伝	目　標	（　－　）	（　9社　）	（　　）	（　　）
	実　績	－	8社		
鉄道車両への広告宣伝	目　標	（①JR東日本 ②東京メトロ ③JR西日本 ④大阪地下鉄）	（①名古屋地下鉄 ②札幌地下鉄 ③JR北海道）	（　　）	（　　）
	実　績	①JR東日本 ②東京メトロ ③JR西日本 ④大阪地下鉄	①名古屋地下鉄 ②札幌地下鉄 ③JR北海道 ④さっぽろ雪まつり会場		

達成状況説明

【新聞紙面を活用した広告宣伝】
県外で発刊されている新聞紙面（8社）を活用して年2回（11月・2月）広告宣伝を実施。本市の美しい自然を全面的に訴求した広告内容となっており、新聞紙面を通して、観光地としての魅力を効果的にＰＲできた。
◆広告掲載新聞社：①釧路新聞社　②北羽新報社　③庄内日報社　④長野日報社　⑤東愛知新聞社　⑥紀伊民報社　⑦宇部日報社　⑧南海日日新聞社　※発行総部数339，000部
【鉄道車両等での広告宣伝】
平成25年度は愛知県名古屋市と北海道札幌市を対象として広告宣伝を実施。実施時期としては鉄道利用者が増加するイベント開催時期（名古屋では「名古屋祭り」、札幌では「さっぽろ雪祭り」の開催時期）に合わせて、鉄道車両や駅の構内で広告を展開しており、より効果的に観光地としてのＰＲができた。また、「さっぽろ雪祭り」会場においても、青い海を強調した大型看板の掲出や大型ビジョンによる観光ＰＲ映像を上映しており、会場来場者へ暖かい宮古島の魅力を効果的に訴求できた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（31年度）
【広告宣伝】北海道・名古屋地区への広告宣伝	目　標	（　　）	（①JR東日本 ②東京メトロ ③JR西日本 ④大阪地下鉄）	（①名古屋地下鉄 ②札幌地下鉄 ③JR北海道）	（　　）	（　　）
	実　績		①JR東日本 ②東京メトロ ③JR西日本 ④大阪地下鉄	①名古屋地下鉄 ②札幌地下鉄 ③JR北海道 ④さっぽろ雪まつり会場		
【新聞広告】釧路新聞社・北羽新報社・庄内日報社・常陽新聞社・長野日報社・東愛知新聞社・紀伊民報社・宇部日報社・南海日日新聞社	目　標	（　　）	（　－　）	（　9社　）	（　　）	（　　）
	実　績		－	8社		
【参考指標】宮古島市入域観光客数（独自調査）	目　標	（332，473人）	（400，000人）	（400，000人）	（　　）	（500，000人）
	実　績		413，654人	400，391人		

進捗状況説明

平成25年度の入域観光客数は前年度比で約3.2%（13，263人）減少しているものの、初めて2年連続で400，000人を突破しており、広告宣伝活動を実施したことにより、誘客効果も一定の成果があったものと考える。また、今後も事業効果が大いに期待できる。

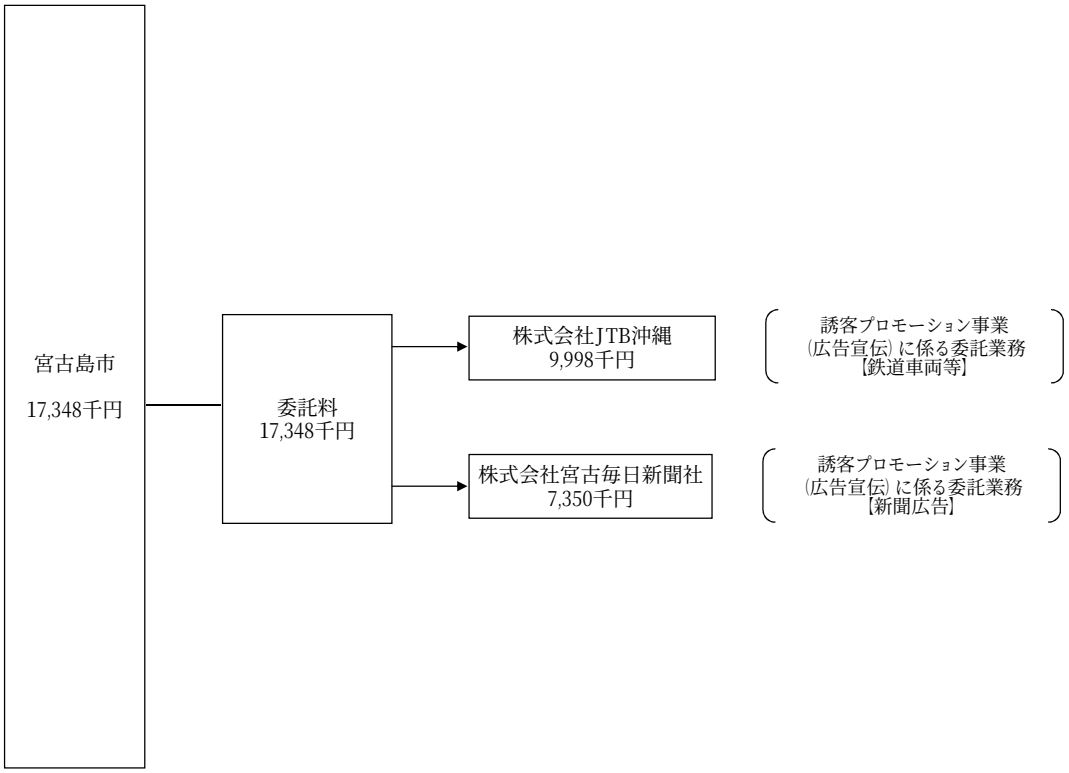
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	より訴求効果の高い広告宣伝を行うため、実施方法や広告内容等について知見を深めて行く必要がある。	事業を実施していく中で、効果的なプロモーションの手法等について、知見を深めていくとともに、クオリティーの高い、映像や画像を用いた広告宣伝活動を実施していく。

今後の取り組み方針

今後は効果的な誘客活動を実施しながら、受入体制を強化し、観光消費額を増加させる仕組みづくりに取り組む必要がある。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
17,348	17,348	13,877	3,471	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業の実施にあたっては、公募型プロポーザル方式により、委託業者を選定しており、企業組織、実績、知識等の面からも信頼性があり、支出先としては妥当であると考える。また、予算規模についても事業の効果を鑑みると妥当である。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から事業完了後に検査を行った結果、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	４－②	観光振興事業補助金（観光協会）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－イ 市場特性に対応した誘客活動の展開
担当部課名	観光商工局　観光課	事業実施（予定）年度	平成２４～２８年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	観光協会の活動を支援し、観光振興を図るため、観光協会に対し補助金を交付する。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	5,541	5,541			
	(b)予算現額	5,541	5,541			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	0	0			
	A．計(b+d)	5,541	5,541			
B．執行済額		5,541	5,541			
うち交付金充当額		4,432	4,432			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		不用額もなく、当初計画していた事業内容は一部を除きすべて実施しており、達成状況を見ても適正であると考える、				

活動目標（指標）及び達成状況

H25活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
誘客活動等への支援 ・誘客宣伝：県内2回、県外2回	目　標	（県内2回 県外2回）	（県内2回 県外2回）	（　）	（　）
	実　績	県内2回 県外2回	県内2回 県外2回		
誘客活動等への支援 ・イベント事業：1回	目　標	―	（1回）	（　）	（　）
	実　績	―	1回		
誘客活動等への支援 ・印刷物製作事業：宣伝ツール2回	目　標	―	（2回）	（　）	（　）
	実　績	―	2回		
誘客活動等への支援 ・研修事業：講習会1回	目　標	2回	（講習会1回）	（　）	（　）
	実　績	3回	0回		
誘客活動等への支援 ・観光地浄化対策事業：3回	目　標	2回	（3回）	（　）	（　）
	実　績	2回	1回		
誘客活動等への支援 ・観光案内所パンフ送付回数：１２０回	目　標	１２０回	（パンフ送付１２０回）	（　）	（　）
	実　績	１２０回	１８５回		
誘客活動等への支援 ・調査研究事業：１２回	目　標	１２回	（１２回）	（　）	（　）
	実　績	２４回	１２回		

達成状況説明	①二子玉川イベントに参加し宮古島観光のPRをする事が出来た。スカイマーク社に要請活動を行った。要請活動を行うことにより、宮古那覇間の継続運航に繋がっている。 ②事業計画の見直しにより未実施。 ③修学旅行生徒による植樹活動の実施及び清掃活動を行い観光地のイメージアップに繋がった。 ④観光案内所でのパンフレット送付を行うことにより、観光客の利便性向上及び誘客に繋がった。 ⑤月1回の観光動向調査、民泊稼働率の調査の実施した。今後観光振興計画に反映することが出来る。 ⑥宮古島海開きを実施し約4，000人の方が参加した。多くの方が宮古島の美しい海でのイベントに参加することにより宮古島の海の美しさを県内外にPRする事が出来た。 ⑦伊良部大橋ユーバックの製作。各種行事等で使用するユーバックであるため、伊良部大橋開通の宣伝に繋がる。

成果目標（指標）及び進捗状況

H25成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
誘客活動等への支援 ・誘客宣伝：県内2回、県外2回	目　標	（　　）	（県内2回 県外2回）	（県内2回 県外2回）	（　　）	（　　）
	実　績		県内2回 県外2回	県内2回 県外2回		
誘客活動等への支援 ・イベント事業：1回	目　標	（　　）	（　－　）	（　1回　）	（　　）	（　　）
	実　績		－	1回		
誘客活動等への支援 ・印刷物製作事業：宣伝ツール2回	目　標	（　　）	（　－　）	（　2回　）	（　　）	（　　）
	実　績		－	2回		
誘客活動等への支援 ・研修事業：講習会1回	目　標	（　　）	（　2回　）	（　1回　）	（　　）	（　　）
	実　績		3回	0回		
誘客活動等への支援 ・観光地浄化対策事業：3回	目　標	（　　）	（　3回　）	（　3回　）	（　　）	（　　）
	実　績		3回	1回		
誘客活動等への支援 ・観光案内所パンフ送付回数：120回	目　標	（　　）	（120回）	（120回）	（　　）	（　　）
	実　績		120回	185回		
誘客活動等への支援 ・調査研究事業：12回	目　標	（　　）	（12回）	（12回）	（　　）	（　　）
	実　績		24回	12回		
【参考指標】 宮古島市入域観光客数 （独自調査）	目　標	（332，473人）	（400，000人）	（400，000人）	（　　）	（　　）
	実　績		413，654人	400，391人		

進捗状況説明	各種事業の実施により、観光振興が図られ、産業と文化の向上並びに地域の経済活性化に寄与することが出来、観光客の誘致に繋がった。　また、入域観光客数50万人達成のためには宮古島観光協会の活動は重要な役割を果たしているので、今後もこのような観光協会の活動を支援していきたい。

取組の検証

推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	**改善余地の検証**（効率の更なる向上の視点）
各事業概ね問題なく実施されているが、一部事業計画の見直しがあり、実施されなかった事業がある。	事業計画に挙げた事業が適切に実施されているかを確認する必要があるため、事業完了時の実績報告だけでなく、執行状況を確認する体制を構築し、効果的な観光誘客を図る。

今後の取り組み方針

本市が掲げている入域観光客数50万人を達成させるためには、平成26年度においても観光誘客活動の強化が必要であることから、宮古島観光協会の活動を支援し、観光誘客活動を強化していきたい。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,600	5,541	4,433	1,108	5,059

宮古島市
5，541千円

→

補助金
5，541千円

→

宮古島観光協会
5，541千円

（観光振興事業に係る経費の補助）

［実行委員会負担金
（交付対象外経費）
5，059千円］

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○観光振興を図る為に、観光協会の活動を支援する事を目的としている為、補助金交付先は妥当であったと考えている。 ○予算規模についても事業計画書等の審査した結果、事業に見合った適正な規模となっている。 ○受益者との負担関係については、交付要綱に基づいて交付しているので、妥当であると考える。 ○費目･使途については、事業目標達成の観点から審査を行った結果、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	４-③	南部忠平杯グラウンド･ゴルフ宮古島大会補助金		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ「スポーツアイランド沖縄」の形成
担当部課名	観光商工局商工物産交流課	事業実施(予定)年度	Ｈ２４～Ｈ３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	島外から多くの参加者が訪れる「南部忠平杯グラウンド･ゴルフ宮古島大会」の開催を支援するため、補助金を交付する。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,000	1,200			
	(b)予算現額	1,000	1,200			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	―				
	A. 計(b+d)	1,000	1,200			
B. 執行済額		1,000	1,200			
うち交付金充当額		800	960			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		不用額もなく当初予定していた事業内容はすべて実施した。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
南部忠平杯グラウンド･ゴルフ宮古島大会の開催支援	目　標	（　開催支援　）	（　開催支援　）	（　　）	（　　）
	実　績	開催支援	開催支援		
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：参加者の増加を図るため、全国大会での広報活動や募集告知CMの制作などのＰＲ活動の実施により、前回大会を上回る４１５名の参加が得られた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
南部忠平杯グラウンド･ゴルフ宮古島大会の参加者数	目　標	（　　）	（400人）	（400人）	（　　）	（　　）
	実　績		384人	415人		
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：ＰＲ活動の効果もあり、参加者数が前年度比で約８％増加するなど、目標に掲げたイベント参加者数を達成することができた。また参加者の半数以上の２１３人が島外から参加しており、一定の誘客効果があったと考える。

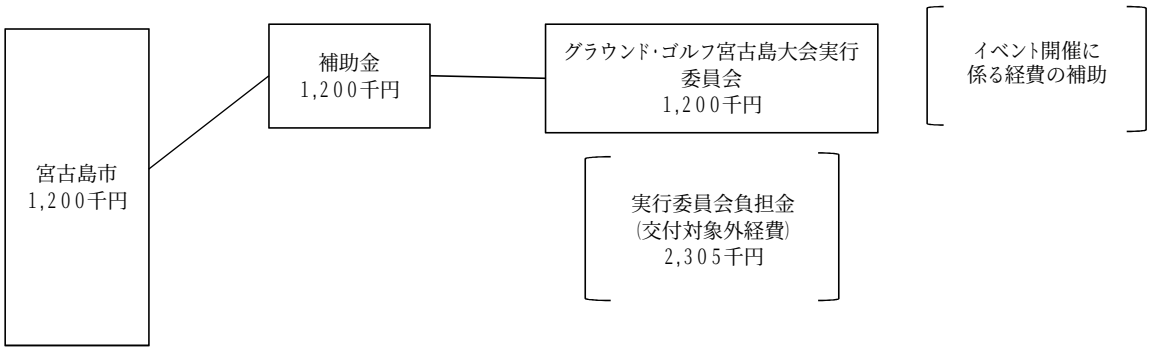
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	本事業は誘客の面では一定の成果をあげており、引き続き離島における効果的な誘客活動を展開する必要がある。	地域によって参加者数に偏りがあるため、全国大会での効果的な広報活動を実施し、全国からの参加者数の増加を図る。

今後の取り組み方針

本市のグラウンドゴルフ協会との連携を強化し、地元参加者を増加させると共に、より効果的な誘客活動を展開する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,505	1,200	960	240	2,305



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業実施実行委員会への支出であり、適正であったと考える。 ○活動目標･成果目標をほぼ達成しており、予算規模は適正であったと考える。 ○観光誘客に向けた公共性の高い事業への補助であり、交付要綱に基づいて交付しているため受益者との負担関係は妥当であると考える。 ○費用･使途については、完了検査にて確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	４-④	エコアイランド宮古島マラソン大会補助金		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成
担当部課名	観光商工局商工物産交流課	事業実施(予定)年度	Ｈ２４～Ｈ３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	島外から多くの参加者が訪れる「エコアイランド宮古島マラソン大会」の開催を支援するため、補助金を交付する。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	3,000	3,000			
	(b)予算現額	3,000	3,000			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	3,000	3,000			
B. 執行済額		3,000	3,000			
うち交付金充当額		2,400	2,400			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		不用額もなく当初予定していた事業内容はすべて実施した。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
エコアイランド宮古島大会の開催支援	目　標	（開催支援）	（開催支援）	（　）	（　）
	実　績	開催支援	開催支援		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：日本全国の市民ランナーを迎え、選手･大会スタッフ･地元ボランティアの交流を図り、親睦を深めることにより、地域活性化、観光振興。また、マラソンの普及により健康増進に寄与することができた。
当大会の申込者は、フルマラソンが５９４人で内訳が県外２６３人、県内１０２人(市内除く)、市内２２９人。ハーフマラソンが８０９人で内訳が県外１７４人、県内１５７人(市内除く)、市内４７８人です。市内以外の参加者は、６９６人で、全体１４０３人の４９.６%で観光客の誘致にも貢献できた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(２３年度)	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
エコアイランド宮古島大会の参加者数	目　標	（　）	（1000人）	（1000人）	（　）	（H30）
	実　績		941人	1261人		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：イベント参加者数は、目標を達成し、前回大会から約３５%増加しました。また島外から４３８人が参加しており、観光振興にも貢献できた。参加者には、宮古島市の魅力を伝えることができたと考えるので、リピーターや各地元での宣伝効果を期待できる。また、テレビ･新聞を通して「スポーツアイランド宮古島」を広く発信できた。

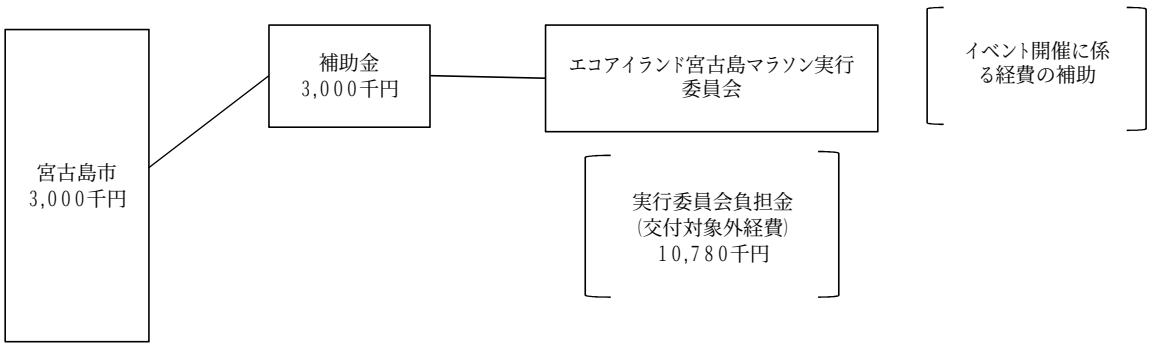
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	誘客宣伝活動が、不十分であると思われる。 宮古島市では、トライアスロン・ワイドーマラソン等、他のスポーツイベントがあり、ボランティアの確保に苦労している。 各後援団体・協力団体との連携。	ポスター・チラシだけでなく、マスコミ広告やインターネットを活用した宣伝・誘客活動を行う。 ボランティア確保のための協力要請の方法を見直す。 安全だけではなく、参加選手が快適なレースができるようエイドステーションの運営について見直す。

今後の取り組み方針

今後も効果的な誘客活動を実施しながら、エコの島、宮古島を発信していく取り組む必要がある。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
13,780	3,000	2,400	600	10,780



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業実施実行委員会への支出であり、適正であったと考える。 ○活動目標・成果目標をほぼ達成しており、予算規模は適正であったと考える。 ○観光誘客に向けた公共性の高い事業への補助であり、交付要綱に基づいて交付しているため受益者との負担関係は妥当であると考える。 ○費用・使途については、完了検査にて確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	４-⑤	サニツ浜カーニバル補助金		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第５章-３-（４）-ウ 圏域の特色を生かした産業の振興
担当部課名	観光商工局商工物産交流課	事業実施(予定)年度	Ｈ２４～Ｈ３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-１-（１）
事業内容	夏期シーズンのイベントとして定着している「サニツ浜カーニバル」の開催を支援するため、補助金を交付する。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,254	1,570			
	(b)予算現額	1,254	1,570			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	1,254	1,570			
B. 執行済額		1,254	1,570			
うち交付金充当額		1,003	1,256			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		不用額もなく当初予定していた事業内容はすべて実施した。活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
サニツ浜カーニバルの開催支援	目　標	（　開催支援　）	（　開催支援　）	（　　）	（　　）
	実　績	開催支援	開催支援		
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：開催支援によって地域資源を活用した「交流の場」が創設され、平成２５年7月7日の日程で「第23回干潟の祭典サニツ浜カーニバル」の開催支援を実施した。参加者の概要は全体で「1，２５６名」で本市のPRをはじめ、スポーツ振興や地域資源を活用した地域活性化に寄与することができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
サニツ浜カーニバル参加者数	目　標	（H23）	（1100人）	（1500人）	（　　）	（　　）
	実　績		1039人	1256人		
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：前年度に比べ、イベント参加者数は伸びたものの目標にかかげた参加者数には届かなかった。広報活動に要因があったと考えるが、今後は集客力のある施設等にチラシ等を配布するなどの対策を講じ、参加者数の増加を図る。
サニツ浜カーニバルを開催したことにより、本市のＰＲをはじめ、スポーツ振興や世代間交流など、交流人口の拡大に寄与することができた。

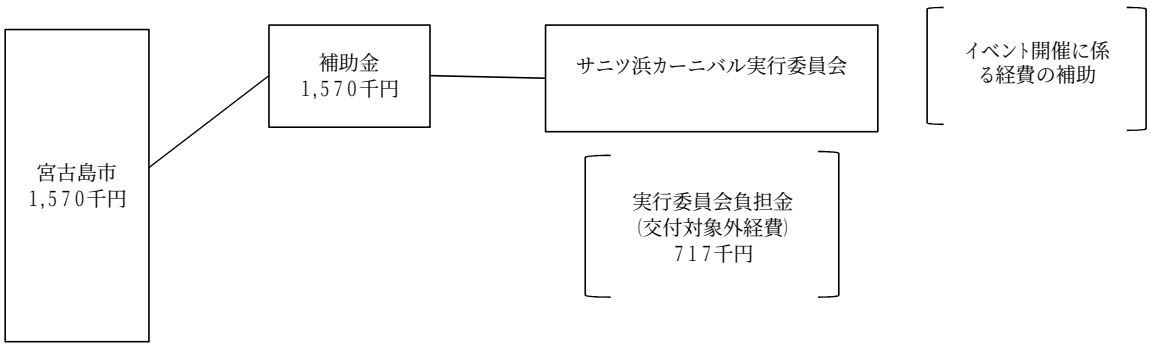
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	本イベントの参加者数が目標には足りなかった、今後は地元参加者を含めた幅広い周知活動が必要である。	現行競技の効果試算ほか、広報・誘客活動の見直していく必用がある。

今後の取り組み方針

競技の内容を再検討し、平成25年度に引き続きライブの開催も視野に入れ、観光誘客を推進する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,287	1,570	1,256	314	717



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業実施実行委員会への支出であり、適正であったと考える。 ○活動目標・成果目標をほぼ達成しており、予算規模は適正であったと考える。 ○観光誘客に向けた公共性の高い事業への補助であり、交付要綱に基づいて交付しているため受益者との負担関係は妥当であると考える。 ○費用・使途については、完了検査にて確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	４-⑥	宮古島100kmﾜｲﾄﾞｰﾏﾗｿﾝ大会補助金		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ「スポーツアイランド沖縄」の形成
担当部課名	観光商工局商工物産交流課	事業実施(予定)年度	Ｈ２４～Ｈ３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容

島外から多くの参加者が訪れる「宮古島ﾜｲﾄﾞｰﾏﾗｿﾝ大会」の開催の支援をするため、補助金を交付する。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	1,609	1,450			
	(b)予算現額	1,609	1,450			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	―	―			
	A. 計(b+d)	1,609	1,450			
B. 執行済額		1,609	1,450			
うち交付金充当額		1,287	1,160			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			

予算の状況の説明：不用額はなく当初予定していた事業内容はすべて実施されており、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
宮古島100kmワイドーマラソン大会の開催支援	目　標	（　開催支援　）	（　開催支援　）	（　）	（　）
	実　績	開催支援	開催支援		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：1月12日の日程において、「宮古島１００kmワイドーマラソン大会」の開催支援を実施した。全体で1,317名の参加があり、宮古島のＰＲ及びスポーツの振興に寄与することができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
宮古島100kmﾜｲﾄﾞｰﾏﾗｿﾝ大会の参加者数	目　標	（　）	（1200人）	（1300人）	（　）	（　）
	実　績		1146人	1317人		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：年々参加者数を伸ばしている本大会は島外から名の参加があり、一定の誘客効果があった。また、本大会を通して「宮古島」をＰＲでき、今後の観光誘客に期待が持てる。

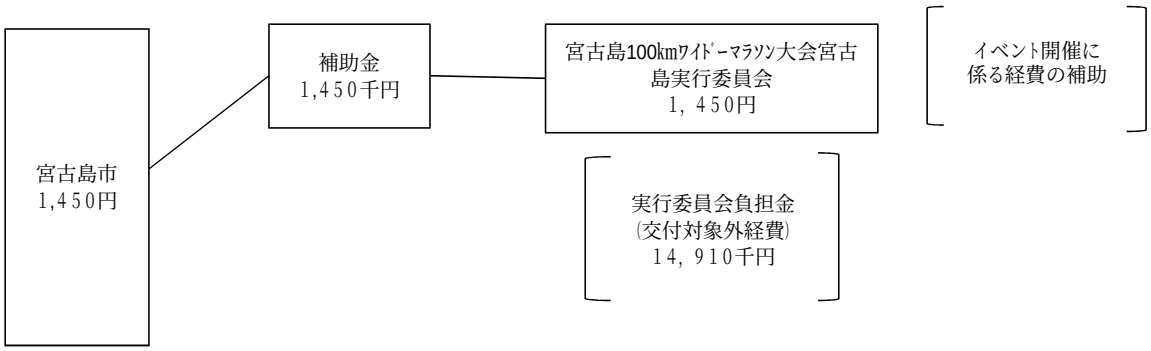
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	これまで、競技会場と表彰式会場を別で実施していたが、参加選手から両会場が離れていて不便をかんじるとの回答が多数受けており、改善を検討する必要がある。	本市の下地地区にあるスポーツ施設は、陸上競技場、体育館の両方を完備している事から、本施設を競技発着点、表彰式会場として開催することにより、改善が図られる。

今後の取り組み方針

次回大会に向け新たなコースを設定し、参加者の満足度を高める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
16,360	1,450	1,160	290	14,910



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業実施実行委員会への支出であり、適正であったと考える。 ○活動目標･成果目標をほぼ達成しており、予算規模は適正であったと考える。 ○観光誘客に向けた公共性の高い事業への補助であり、交付要綱に基づいて交付しているため受益者との負担関係は妥当であると考える。 ○費用･使途については、完了検査にて確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-⑦	宮古島物産展開催事業		沖縄２１世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア 観光リゾート産業の振興
担当部課名	観光商工局　商工物産交流課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9

事業内容

地域の特産品を取り扱う業者をとりまとめ、東京三越本店にて「宮古島フェスト【物産展】」を開催する。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	4,573				
	(b)予算現額	4,573				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	―				
	A. 計(b+d)	4,573				
B. 執行済額		3,823				
うち交付金充当額		3,059				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		83.6%				

予算の状況の説明

○当初計画していた事業内容は実施しており、達成状況を鑑みても適正であったと考える。
○不用額に関しては、広告宣伝業務･ライブ機器使用料等において、当初予定していた額に比べ契約額が縮小された為。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
東京三越本店にて宮古島フェストの開催	目　標	（宮古島フェストの開催）	（　）	（　）	（　）
	実　績	7月10日～16日の日程にて1回開催			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

本市のＰＲを目的として、東京三越本店で7月10日～16日の日程において物産展を開催し、宮古島特産品をＰＲすることが出来た。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
イベント開催による来場者数	目　標	（　）	（5,000 人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		1300人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

開催会場との調整がうまくできておらず、成果目標の実績においては13日及び14日に開催した芸能フェア(ビアガーデン会場)のみの来場者数である。東京三越日本橋本店での物産展及びライブ演奏は初の試みであり来場者からも好評であった。また、本物産展を通して「宮古島特産品」、「沖縄県宮古島」をＰＲでき、今後の観光誘客に期待が持てる。

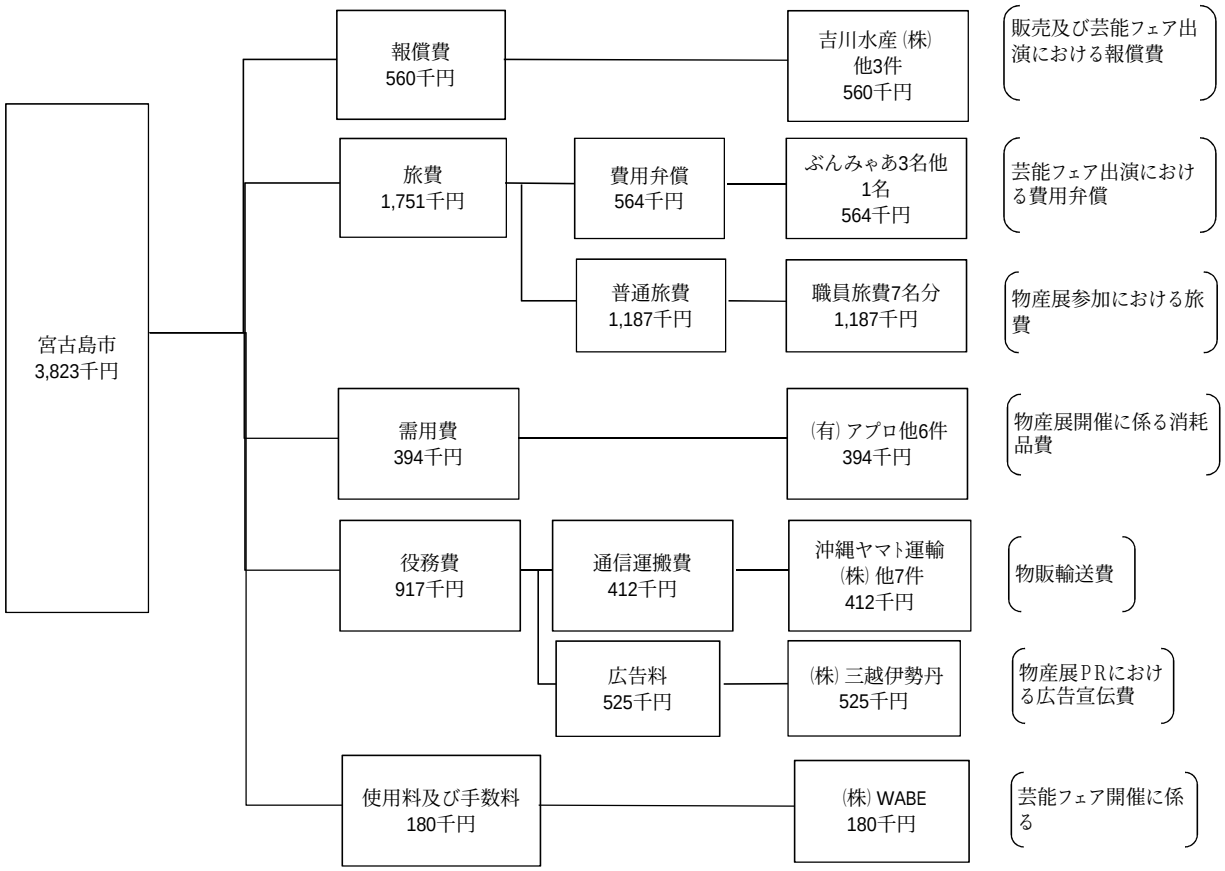
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	開催会場との調整がうまくできておらず、成果目標に掲げていた来場者数の把握が困難であった。物産展を開催していく中で特に問題は無いが、継続して誘客活動、特産品のＰＲ活動を実施して行く事が必要である。	開催期間中、専従の職員配置を行い来場者数の把握を実施する。姉妹都市、友好都市への物産展交流も含め、主要都市での物産展を開催し、誘客活動、特産品ＰＲ活動の実施を検討する。

今後の取り組み方針

本物産展にて販売した1部の商品に関しては、時期によって取引が可能となった。今後も、新たな主要都市での開催を検討し、特産品を通じた誘客活動を積極的に展開していく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,823	3,823	3,059	764	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	各予算支出項目については、事業目的達成に必要なものであり、宮古島契約規則に基づき選定しており、支出等に関する書類により確認した結果適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	４－⑧	宮古島フラダンス全国大会支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－イ 市場特性に対応した誘客活動の展開
担当部課名	観光商工局　観光課	事業実施(予定)年度	平成２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

観光客の誘致拡大や地域経済の活性化を図るため、フラダンス全国大会の開催を支援する。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	5,000				
	(b)予算現額	5,000				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	0				
	A. 計(b+d)	5,000				
B. 執行済額		5,000				
うち交付金充当額		4,000				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明：不用額もなく、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
宮古島フラダンス全国大会の開催の支援	目　標	（　大会の開催　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	大会の開催			

達成状況説明：台風19号の接近に伴い一部会場変更を余儀なくされたが、予定していた前夜祭、本大会、フラピクニック、後夜祭は全て開催され、観光客の誘客に繋がった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
来場者数	目　標	（　）	―	（1,200人）	（　）	（　）
	実　績		―	1,500人		
【参考指標】宮古島市入域観光客数(独自調査)	目　標	（332,473人）	（400,000人）	（400,000人）	（　）	（　）
	実　績		413,654人	400,391人		

進捗状況説明：本大会の開催により、県内外から多くの方が宮古島に来島され、観光客の誘客に繋がった。また、フラを通してハワイとの国際交流も深めることが出来た。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	本全国大会は、沖縄県内初のイベントであり、まだまだ認知度も低く参加者も少ない状況である。イベント運営が軌道に乗るまでは、支援が必要であると考える。	イベントの告知内容を充実させ、大会の認知度を高める。

今後の取り組み方針

イベントの告知を幅広く行い、認知度を高め、全国から大会の参加者を増やしていきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,198	5,000	4,000	1,000	4,198

宮古島市
5，000千円

→ 補助金
5，000千円

→ カギマナフラ実行委員会
5，000千円

（カギマナフラ宮古島2013に係る経費の補助）

［実行委員会負担金
（交付対象外経費）
4，198千円］

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○カギマナフラ宮古島2013の開催支援を目的としているため、補助金交付先は妥当であったと考えている。 ○予算規模についても事業計画書等の審査した結果、事業に見合った適正な規模となっている。 ○受益者との負担関係については、交付要綱に基づいて交付しているので、妥当であると考える。 ○費目・使途については、事業目標達成の観点から審査を行った結果、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4－⑨	観光プロモーション事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－イ 市場特性に対応した誘客活動の展開
担当部課名	観光商工局観光課	事業実施(予定)年度	平成２５～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)

事業内容

県内外へ観光地としての情報を積極的に発信し、観光入域客数の増加を図るため、本市の観光情報を効果的に発信できるWEBサイトの制作と誘客活動に必要なプロモーションビデオを制作し、より効果的な観光プロモーションを展開する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	30,000				
	(b)予算現額	30,000				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	30,000				
B. 執行済額		29,850				
うち交付金充当額		23,880				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.5%				
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容は概ね実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
観光プロモーションビデオの制作(多言語版)	目　標	(　-　)	(観光プロモーションビデオの制作)	(　)	(　)
	実　績	-	観光プロモーションビデオの制作		
観光WEBサイトの構築(多言語版)	目　標	(　-　)	(観光WEBサイトの制作)	(　)	(　)
	実　績	-	観光WEBサイトの制作		

達成状況説明

【観光プロモーションビデオ】
観光プロオーションビデオは、CM版3バージョン、本編6バージョンを制作しており、ストーリー性を持たせた内容となっている。また、海外でも紹介できるよう、多言語版(日本語･英語･韓国語･中国語(簡体字･繁体字))も制作している。

【観光WEBサイト】
クオリティーを重視した新しい形の観光WEBサイトを制作しており、WEBサイトでは、本市の様々な観光スタイル(楽しみ方や過ごし方)を各ジャンルごとに分けて紹介し、見る人に憧れを抱かせ、来訪意識を促す内容となっている。また、海外からのアクセスも意識して多言語対応(日本語･英語･中国語(簡体字･繁体字))とした。
WEBサイト名:宮古島style(スタイル)　URL:http://www.miyakojima-style.jp/

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(31年度)
観光プロモーションビデオの制作(多言語版)	目　標	(　)	(　-　)	(観光プロモーションビデオの制作)	(　)	(　-　)
	実　績		-	観光プロモーションビデオの制作		
観光WEBサイトの構築(多言語版)	目　標	(　-　)	(　-　)	(観光WEBサイトの制作)	(　)	(　-　)
	実　績		-	観光WEBサイトの制作		
【参考指標】宮古島市入域観光客数(独自調査)	目　標	(332,473人)	(400,000人)	(400,000人)	(　)	(500,000人)
	実　績		413,654人	400,391人		

進捗状況説明

平成25年度の入域観光客数は前年度比で約3.2%(13,263人)減少しているものの、初めて2年連続で400,000人を突破しており、今後は、プロモーションビデオや観光WEBサイトを効果的に活用して、観光情報の発信やＰＲを行い、入域観光客数50万人達成に向け取り組んでいく。

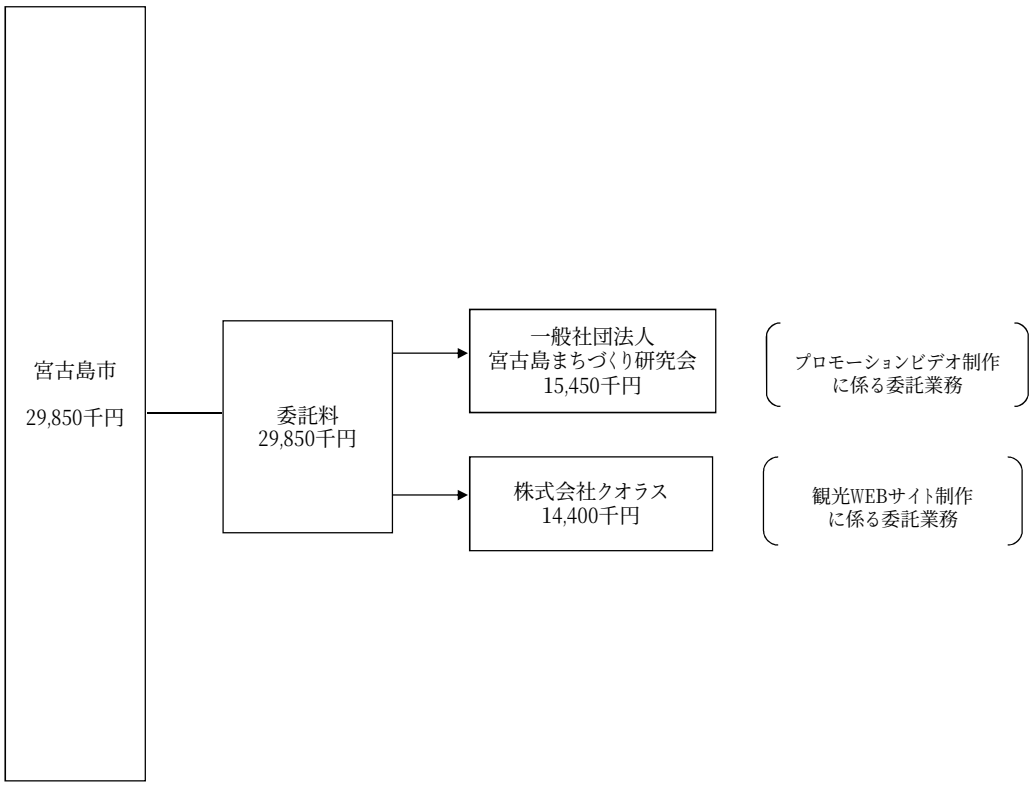
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	本市の魅力ある観光資源を映像やインターネットを通じて積極的かつ効果的に発信し、入域観光客数の増加につなげていく必要がある。	観光情報の発信やＰＲを実施する上では、本市の観光コンテンツを明確に認識することが重要であり、事業を実施しながら島外にＰＲできる観光コンテンツを改めて再確認していく。

今後の取り組み方針

島外にＰＲできる観光コンテンツを明確に認識し、効率よく観光プロモーションを実施することで、入域観光客数の増加につなげていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
29,850	29,850	23,880	5,970	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業の実施にあたっては、公募型プロポーザル方式により、委託業者を選定しており、企業組織、実績、知識等の面からも信頼性があり、支出先としては妥当であると考える。また、予算規模についても事業の効果を鑑みると妥当である。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から事業完了後に検査を行った結果、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	５－③	観光産業連携型低炭素モデル事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ｱ 低炭素島しょ社会の実現
担当部課名	企画政策部　エコアイランド推進課	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1-(1)

事業内容

エコアイランド宮古島の形成に向けて、観光産業等と連携したＣＯ２削減事業の検討を行うこととして、以下に係る調査・検討を実施する。
①第３０回全日本トライアスロン大会におけるカーボンオフセットの実施に係る資金調達を含めたパッケージ化の調査・検討を実施。
②カーボンオフセット（排出権を使い、ＣＯ２を埋め合わせる取り組み）について、音楽イベント等のスポーツ以外のイベントに係る波及について調査・検討を実施。
③すまエコ事業（島内の電力エネルギーの「見える化」による省エネ活動の促進と、電力需給の最適化を通じた島嶼型低炭素社会の構築に向けた取り組み）におけるＣＯ２削減量の把握及び削減インセンティブについて調査・検討を実施。

実施方法　□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	7,000				
	(b)予算現額	7,000				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	0				
	A. 計(b+d)	7,000				
B. 執行済額		6,979				
うち交付金充当額		5,583				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.7%				
予算の状況の説明		･当初計画していた事業内容について実施しており、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
①第30回全日本トライアスロン大会におけるカーボンオフセットの実施に係る資金調達を含めたパッケージ化の調査･検討を実施。	目　標	（調査検討の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	調査検討の実施			
②カーボンオフセットについて、音楽イベント等のスポーツ以外のイベントに係る波及について調査･検討を実施。	目　標	（調査検討の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	調査検討の実施			
③すまエコ事業におけるCO2削減量の把握及び削減インセンティブについて調査･検討を実施。	目　標	（調査検討の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	調査検討の実施			

達成状況説明　第30回全日本トライアスロン宮古島大会では、大会参加者の参加費用値上げによりカーボンオフセットを実施したが、今後のトライアスロンを含む各種イベントにおいて、参加費用の値上げに依存しない資金の調達も含めたカーボンオフセットのパッケージ化、及びすまエコ事業における、インセンティブ原資調達方法に係る制度設計についての調査･検討を行い、実施の可能性を探った。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
①第30回全日本トライアスロン大会におけるカーボンオフセットの実施に係る資金調達を含めたパッケージ化の調査･検討を実施。	目　標	（　）	（調査検討の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績		調査検討の実施			
②カーボンオフセットについて、音楽イベント等のスポーツ以外のイベントに係る波及について調査･検討を実施。	目　標	（　）	（調査検討の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績		調査検討の実施			
③すまエコ事業におけるCO2削減量の把握及び削減インセンティブについて調査･検討を実施。	目　標	（　）	（調査検討の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績		調査検討の実施			

進捗状況説明　上記①、②、③について活動目標により調査･検討を行い、トライアスロンをはじめとする各イベントに係るカーボンオフセット原資調達の手法、及びすまエコ事業参加者へのインセンティブ原資調達の方法について、調査･検討し、エコアイランド宮古島の形成に繋げる。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	各団体等とのヒアリング、及びカーボンオフセットの仕組みについての説明、理解を得ることに時間を要した。 「カーボンオフセット」の言葉自体が耳慣れなく、認識が薄いことから、仕組みを説明し理解を得ることに時間を要した。	イベント実施者、またイベント参加者への、カーボンオフセットについて認識が薄いことから、その仕組み等についての周知を図っていく。 すまエコプロジェクトの動向に即した、インセンティブの仕組みについて検討が必要。 トライアスロンを含む各イベントにおけるカーボンオフセットを実施するにあたり、市独自の排出権の創出の実施についての検討を行う。

今後の取り組み方針

今後、島内で行われる各イベントにおいて、カーボンオフセットの実施に向けた取り組みを行う。
島内の電力エネルギーの「見える化」による省エネ活動の促進と、電力需給の最適化を通じた島嶼型低炭素社会の構築に向けた取り組み（すまエコ事業）におけるポイントを活用したインセンティブの方法についての、検討を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,979	6,979	5,583	1,396	

宮古島市
（6,979千円）

→（業務委託）

カーボンフリーコンサルティング株式会社
（6,979千円）

（全日本トライアスロン宮古島大会をはじめとする、島内各イベントにおけるCO2排出の削減に資する調査業務
6，979千円）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託先については、公募型提案方式にて提案のあった企業、提案内容等について、審査委員会の中で審議の上で、企業の実績、コスト等も勘案しながら検討し、提案事業者との随意契約により契約を締結した。 費目・使途についても、調査・検討業務であることから、委託費と限定されていることから妥当であると考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-①	ヤソ防除事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章－3－(4)－ウ 圏域の特色を生かした産業の振興
担当部課名	農林水産部農政課	事業実施(予定)年度	平成２４～２８年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	さとうきびを野その被害から守るため、地上防除及び航空防除を実施する。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　■その他（医薬材料費）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	22,300	33,691			
	(b)予算現額	22,292	33,691			
	(c)増減額(b-a)	▲8	0			
	(d)繰越額	－	－			
	A. 計(b+d)	22,292	33,691			
B. 執行済額		22,238	33,571			
うち交付金充当額		17,791	26,857			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		99.8%	99.6%			
予算の状況の説明		予定していた事業は全て実施しており、予算執行は適正であった。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
ヤソ被害からの防除 1)航空防除	目標	(宮古島一円(池間島を除く))	(宮古島･伊良部島)	( )	( )
	実績	宮古島一円(池間島を除く)	宮古島一円 池間島,伊良部島含む)		
ヤソ被害からの防除 2)地上防除	目標	(伊良部島一円)	(池間島)	( )	( )
	実績	伊良部島一円	宮古島一円 池間島,伊良部島含む)		
達成状況説明	収穫前のさとうきびをヤソからの被害を防ぐため、平成２５年10月28日から11月7日までヘリコプターによる航空防除を宮古島一円(池間島、伊良部島を含む)で実施した。				

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
ヤソ被害からの防除 1)航空防除	目標	(宮古島一円)	宮古島一円(池間島を除く)	宮古島･伊良部島	( )	( )
	実績		宮古島一円(池間島を除く)	宮古島一円(池間島、伊良部島含む)		
ヤソ被害からの防除 2)地上防除	目標	(伊良部島)	伊良部島	池間島		
	実績		伊良部島	宮古島一円(池間島、伊良部島含む)		
【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
	実績					
進捗状況説明	･航空防除の実施により、ヤソ被害が軽減し、農家の生産意欲向上が図られた。 ･平成２５年度からは池間島、伊良部島も航空防除を実施した。					

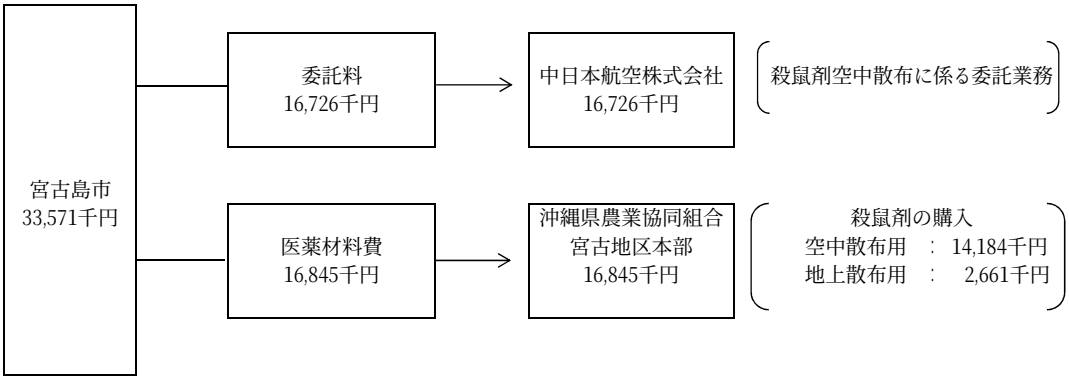
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	1. 薬剤の空中散布なので農家への周知を徹底する必要がある。 2. 薬剤を散布できない牧草地等からの野その侵入をどう防ぐか。 3. 市街地に点在する農地への薬剤空中散布が困難。	・事業実施時期の再確認。 ・市街地や畜舎周辺等航空散布が困難な農地を所有する農家へ薬剤配布の周知を図る。

今後の取り組み方針

・池間島での防除は農家へ事前に周知し、一斉防除の際に協力してもらい一斉防除を実施する。
・市街地周辺の薬剤散布が困難な地域の希望農家へ薬剤を配布し、防除してもらう。
・伊良部島においては平成26年度から航空防除を実施する。
・生産農家からの聞取や農作物の被害調査及びヤソ捕獲機を設置して密度調査を実施する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
33,571	33,571	26,857	6,714	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・薬剤購入については、薬剤の代理店をJAが行っており、配送業務等の対応が可能な団体がJAに限られ、空中散布作業委託についても空中散布可能な装置を所有しているのが一社に限られているため、随意契約をしたが選定は妥当であると考える。 ・計画どおり事業が実施でき、計画目標も達成されているため、適正であった。 ・費目・使途については、事業完了報告書によって確認し適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	６－②	さとうきび病害虫防除用農薬購入補助事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章－3－(4)－ウ 圏域の特色を生かした産業の振興
担当部課名	農林水産部農政課	事業実施(予定)年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(6)

事業内容

さとうきび病害虫の被害を防止することを目的に、新たな農薬を用いた防除体系を確立し、生産性の向上を図るため、生産農家を対象に農薬購入補助を行う。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	62,370	286,653			
	(b)予算現額	62,370	177,925			
	(c)増減額(b-a)	0	▲ 108,728			
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	62,370	177,925			
B. 執行済額		61,515	177,840			
うち交付金充当額		49,212	142,272			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		98.6%	100.0%			

予算の状況の説明

・プリンスベイト剤の普及により株出面積が増加し、夏植え面積が減少のため予算減、平成２５年度の補助率は８０％で処理された。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
【防除面積】	目　標	（750ha）	（3,447ha）	（　）	（　）
	実　績	739ha	2,700ha		
【実施地区】	目　標	（　）	（宮古島市全域）	（　）	（　）
	実　績		宮古島市全域		

達成状況説明

プリンスベイト剤の普及により株出面積が増加し、夏植面積が減少したため、活動目標3,447haに対し実績は2,700haであった。　(補助農薬数量46,776袋)

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
【防除面積】	目　標	（750ha）	（750ha）	（3,447ha）	（　）	（　）
	実　績		739ha	2,700ha		
【実施地区】	目　標	（　）	（　）	（宮古島市全域）	（　）	（　）
	実　績			宮古島市全域		

進捗状況説明

これまで土壌病害虫による被害を受け、減産を余儀なくされてきた経緯あるが、プリンスベイト粒剤の使用により、収穫後の萌芽率向上とともに株出し面積の増加がしている。また、夏植え一辺倒の栽培から春植･株出し栽培に推移しつつある。

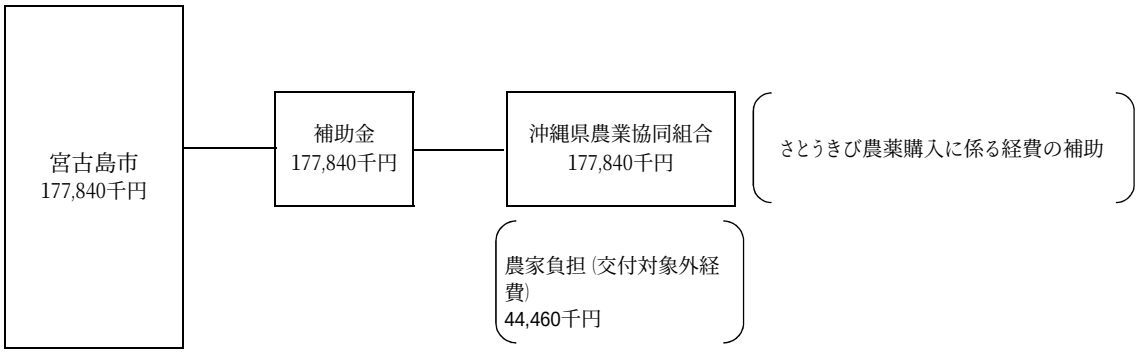
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・農家に対してプリンスベイト剤の適正使用量の周知が徹底されておらず、過剰散布しているケースが散見された。	・さとうきび栽培指針によるプリンスベイト剤の適正使用の周知を図っていく。

今後の取り組み方針

農薬が適正に使用されるように、チラシやパンフレット等を継続して作成・配布し、効果的な農薬使用によるさとうきびの生産性向上を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
222,300	177,840	142,272	35,568	44,460



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・JAおきなわが薬剤の代理店となっており、配達業務まで対応可能な団体がJAおきなわに限られているため、随意契約をしたが選定は妥当であると考える。 ・当初計画にそって実施したが、作付体系の変動により達成率も低くなっている。 ・受益者との負担関係は宮古島市さとうきび農薬購入補助金交付規程第3条により適正である。 ・費目・使途については、事業完了報告書によって確認し適正であった。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-③	生鮮水産物流通条件不利性解消事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(12)－イ 離島の特色を生かした産業振興と新たな展開
担当部課名	農林水産部　水産課	事業実施(予定)年度	平成25～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(6)

事業内容

離島という地理的事情から生じる流通条件の不利性を解消し、水産業の活性化を図るため、宮古島市に在する漁業協同組合(宮古島漁業協同組合、伊良部漁協同組合、池間漁業協同組合)が沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の空路輸送料金に対し、補助金を交付する。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	13,750				
	(b)予算現額	5,550				
	(c)増減額(b-a)	▲ 8,200				
	(d)繰越額	0				
	A. 計(b+d)	5,550				
B. 執行済額		831				
うち交付金充当額		77				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		15.0%				

予算の状況の説明

4月を予定していた事業採択時期が10月へずれ込んだため、市外出荷のピークとなる夏場に事業が実施できなかったことから予算を減額し実施したが、冬場に悪天候が続いたため市外出荷に要する漁獲が十分に確保できなかったこと等から不要額が発生している。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
沖縄本島への生鮮水産物の出荷	目　標	（　－　）	（250トン）	（　）	（　）
	実　績	－	13.8トン		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

市外出荷のピークとなる夏場に事業が実施できなかったこと、冬場に悪天候が続き、市外出荷に要する漁獲が十分に確保できなかったこと等から目標の達成はならなかった。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(平成24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
沖縄本島への生鮮水産物の出荷	目　標	（250トン）	（　－　）	（250トン）	（　）	（280トン）
	実　績		－	13.8トン		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

市外出荷のピークとなる夏場に事業が実施できなかったこと、冬場に悪天候が続き、市外出荷に要する漁獲が十分に確保できなかったこと等から目標の達成はならなかった。

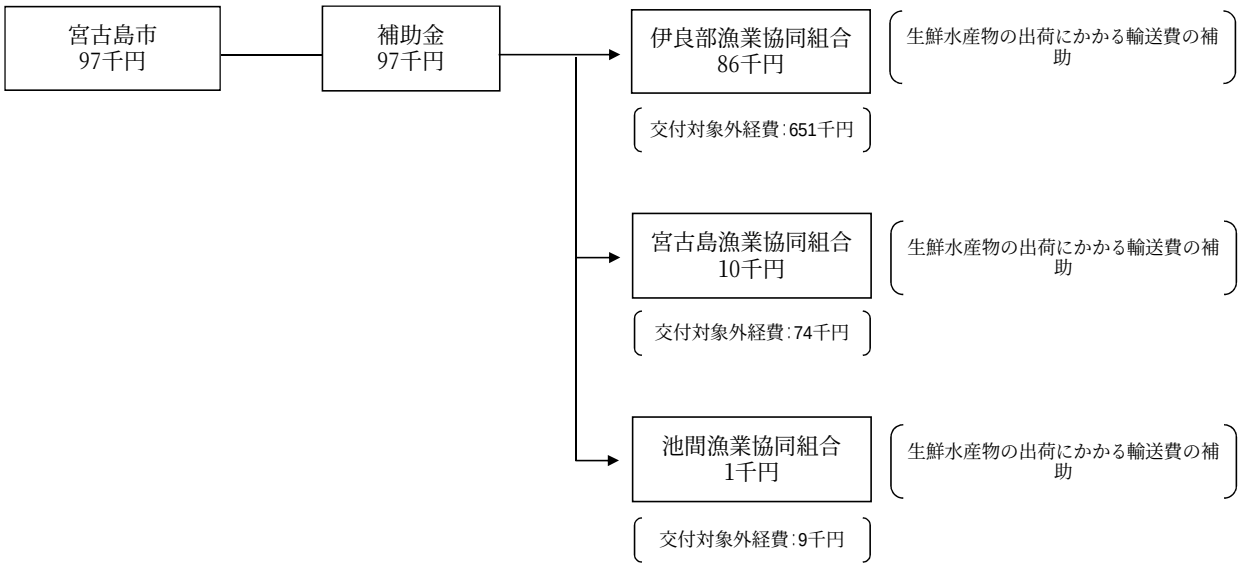
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○事業の適正な執行に向けては、各漁業協同組合との連携・調整を行う場の開催が必要。 ○季節によって漁獲物の種目が異なることから事業を早期的に着手してほしいとの要望が各漁業協同組合からあがっている。 ○当事業の実施により、漁業協同組合への一元集出荷が進んでおり、宮古島市産水産物における品質管理にもある一定の効果が見られている。	○各漁業協同組合における漁獲物の集出荷状況に関すること、宮古島～沖縄本島における輸送形態に関すること、宮古島市産漁獲物の市場評価に関すること等に対して、関係機関が連携し、現状の確認、情報の収集と共有等を行っていく。

今後の取り組み方針

○事業のさらなる効率性向上・効果発現を図るため、宮古島市、3漁業協同組合（伊良部漁業協同組合、宮古島漁業協同組合、池間漁業協同組合）、その他関係機関等を交えて適宜事業検証に関する会議を開催し、現状の確認、情報の収集・共有、課題の検証等を行っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
831	97	77	20	734



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助対象事業者である各漁業協同組合は水産業協同組合法に基づき私的独占の禁止が謳われた組織であることから、支出先として妥当であると考えている。 ○事業開始時期の遅れや荒天による漁獲量の低迷など複数の要因により不要額が生じたため、今後は執行状況の確認等により予算規模を検討していく必要がある。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	６－④	資源循環型農業推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(2)-ア 3Rの推進
担当部課名	農林水産部　むらづくり課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1－(6)
事業内容	本市は、資源リサイクルセンターにおいて、家畜糞尿や枝葉等を利用して有機質肥料を製造し、農地へ還元するとともに化学肥料の低減や地下水の保全につなげている。しかし、宮古島市内で発生する堆肥化原料量に対し、既存の発酵槽では処理能力が十分ではないため、処理能力を上げるため発酵プラントを増設し、施設の機能強化を図る。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
予算の状況	(a)当初予算額	67,160		3,297		
	(b)予算現額	67,006		3,297		
	(c)増減額(b-a)	▲ 154	0	0		
	(d)繰越額	－	9,282	0		
	A. 計(b+d)	67,006	9,282	6,594		
B. 執行済額		55,492	9,282	3,150		
うち交付金充当額		44,393	7,425	2,520		
次年度繰越額		9,282				
執行率（%）(B/A)		82.8%	100.0%	47.8%		
予算の状況の説明		当初計画した活動目標及び成果目標を達成し、事業内容を実施できた。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
生活環境影響調査の実施	目　標	（生活環境影響調査）	（　）	（　）	（　）
	実　績	生活環境影響調査			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：資源リサイクルセンターに破砕機を設置することに伴い、リサイクルセンター周辺の生活環境に及ぼす影響について調査を行わなければならないので、生活環境調査を実施した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
生活環境影響調査報告書の作成	目　標	（　）	（報告書の作成）	（　）	（　）	（　）
	実　績		報告書の作成			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：生活環境影響調査報告書の作成を基に、破砕機の導入を行い処理能力を高めることにより、堆肥の生産量増加につながり農家への還元を図る。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	生活環境調査を行う上で特に問題も発生しなかったので、推進上の留意点は特になし。	業務は目的を達成したため、改善の余地はないものと考える。

今後の取り組み方針

調査報告書を基に、破砕機を導入し処理能力の強化を図る。
また、26年度において発酵槽の整備を進め、施設機能の強化を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,150	3,150	2,520	630	

宮古島市 3,150千円 → 委託料 3,150千円 → （株）沖縄チャンドラー 3,150千円

資源ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ発酵槽追加に伴う生活環境影響調査業務

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札方式により選定しており妥当であったと考える。 ○予定していた事業は全て実施済みであり予算規模は適切であった。 ○費目･使途については事業の目的達成の観点から必要かつ適正なものであった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	８－①	「結いの島」推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(3)－ウ 健康福祉セーフティーネットの充実
担当部課名	消防本部　総務課	事業実施(予定)年度	平成25年度～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－4

事業内容

伊良部島及び大神島において定期航路や定期航路時間外に宮古本島の病院へ移送を要する急患が発生した場合、定期船及び傭船による搬送を行う。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	2,240				
	(b)予算現額	2,500				
	(c)増減額(b-a)	260				
	(d)繰越額	0				
	A. 計(b+d)	2,500				
B. 執行済額		2,471				
うち交付金充当額		1,977				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		98.8%				
予算の状況の説明		・当初予定していた急患搬送体制は確保できたため活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 ・当初計画より急患の搬送回数が多かったため事業費を増額した。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
急患搬送体制の安定確保	目　標	（3業者と契約）	（　）	（　）	（　）
	実　績	3業者と契約			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：海運業者との定期航路及び傭船契約を締結したことにより、夜間時での急患発生にも本島への搬送が容易になり、より高度な医療が受けられ、離島住民の救命率の向上と、安心な暮らしが確保できた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（　年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（　年度）
急患搬送体制の安定確保	目　標	（　）	搬送体制の安定確保	（　）	（　）	（　）
	実　績		搬送体制の安定確保			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：3海運業者と定期航路及び定期航路時間外(傭船)の契約締結を行い、急患が発生した場合、昼夜問わず高度な医療が受けられる本島への搬送が容易になった。(25年度は124名の急患を搬送した。)

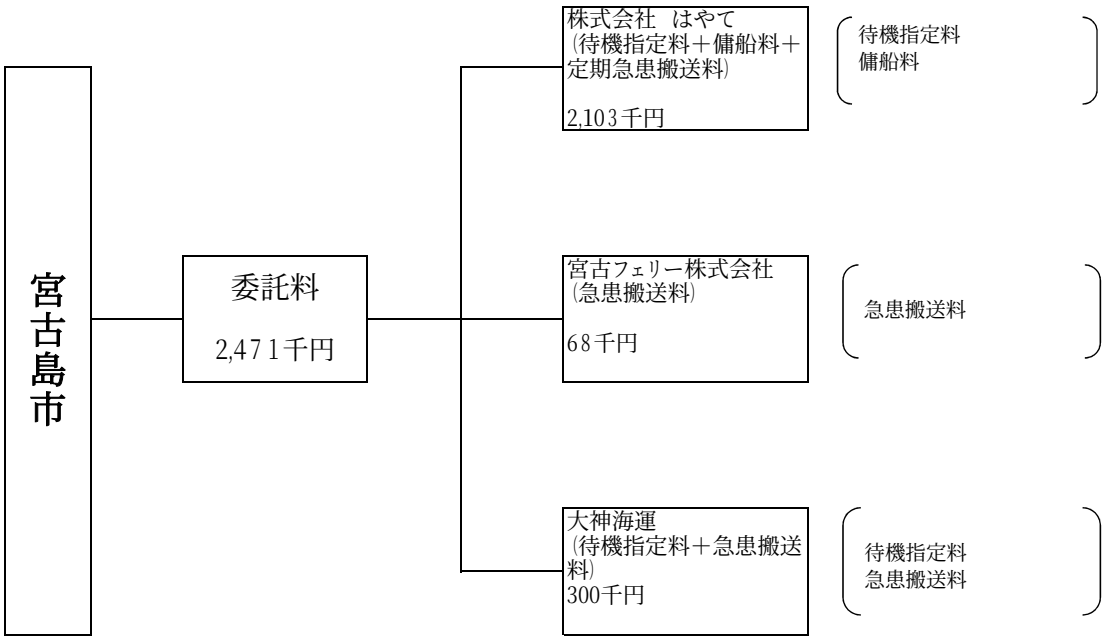
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	急患搬送体制の安定確保ができていることから、高度な救急医療が受けられ、救命率の向上につながっている。その事からこれまで同様、継続的な事業の推進が必要。	改善の余地なし。3海運業者との契約締結により急患が発生した場合、昼夜問わず高度な医療が受けられる本島への搬送が容易になった。 （救急搬送体制の安定確保と高度な救急医療が受けられたこと）

今後の取り組み方針

当事業の実施期間について、宮古島本島と伊良部島間については伊良部大橋（仮称）開通までの期間実施し、大神島間については継続的な事業が必要である。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,471	2,471	1,977	494	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	※急患発生毎に月極の請求書で支出しているため、適正な処理が行われている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	９－①	スクールソーシャルワーカー活用事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(3)－イ 豊かな心とたくましい体を育む教育の推進
担当部課名	教育部学校教育課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)

事業内容

本市児童生徒の個々に応じた支援の充実に向けて、スクールソーシャルワーカーを教育委員会に配置し、学校からの要請に応じて、学校及び対象児童生徒宅などを訪問し、保護者を交えた相談活動を通しニーズを把握した上で、学校、関係機関、地域の協力者等と連携･協働しながら、同児童生徒の生活環境改善のための支援を行う。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	4,677	6,858			
	(b)予算現額	4,677	6,858			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	4,677	6,858			
B. 執行済額		4,266	6,400			
うち交付金充当額		3,413	5,120			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		91.2%	93.3%			

予算の状況の説明：･予算執行率93.3%で、事業計画どおり執行を行った。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
スクールソーシャルワーカー配置数	目　標	（小中学校4人(校区別)）	（小中学校4人(校区別)）	（　）	（　）
	実　績	小中学校4人(校区別)	小中学校4人(校区別)		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：
･学校、臨床心理士、医療機関等と連携し、適応指導教室につなげることで不登校児童生徒数が減少した。
･経済的問題等、保護者が社会サービスや福祉制度を活用しやすいようにサポートし、家庭環境改善に向けた支援を行うことで、児童生徒の学校生活の安定を図ることができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
スクールソーシャルワーカー配置数	目　標	（小中学校4人(校区別)）	（小中学校4人(校区別)）	（小中学校4人(校区別)）	（　）	（小中学校6人(校区別)）
	実　績		小中学校4人(校区別)	小中学校4人(校区別)		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：･学校や関係機関等と連携を図りながら、保護者や児童生徒を支援することで家庭環境の改善がみられた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・課題を抱える児童生徒への支援内容が複雑化しているため、より多くの時間が必要となってきている。 ・校内のケース会議や生徒指導委員会等で、児童生徒の問題の未然防止的視点を持つ必要がある。	・役割分担を明確化する事で、支援の効率化を図る。 ・事前に必要な情報を共有することで、協議内容を明確にしたケース会議の開催を図る。

今後の取り組み方針

・支援員の増員により1人に関わる時間を増やす。

・支援の拠点を学校に置くことで、学校からの要請に対しよりよい形で支援ができ、校内ケース会議、関係機関を交えたケース会議等、必要に応じたケース会議を開催することで、支援の効率化を図り早期対応・早期解決を目指す。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,799	6,400	5,120	1,280	399

宮古島市
6,799千円

報酬（4人）
6,528千円
（小学校8校、中学校7校：スクールソーシャルワーカー4人で対応）

〔有給休暇分（交付対象外経費）399千円〕

事務費
271千円
（需用費、旅費）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については、スクールソーシャルワーカーの資質向上に向けた研修会派遣等、事業目的達成のために必要であり、宮古島市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例に規定された報酬をはじめ、支出等に関しても適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	９－②	問題行動等学習支援者配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(3)－イ 豊かな心とたくましい体を育む教育の推進
担当部課名	教育部学校教育課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)
事業内容	本市の不良行為や不登校等の問題を抱えた児童生徒への適切な指導･支援の取り組み強化に向けて、問題行動等学習支援者を対象児童生徒の在籍する学校に配置する。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	2,886	4,910			
	(b)予算現額	2,886	4,910			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	2,886	4,910			
B. 執行済額		2,886	3,825			
うち交付金充当額		2,309	3,060			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	77.9%			

予算の状況の説明：･不要額が発生しているのは、年度途中に退職した学習支援者の補充が確保出来なかったためである。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
問題行動学習支援者配置数	目　標	（中学校:3人）	（中学校:3人）	（　）	（　）
	実　績	中学校:3人	中学校:3人		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：･派遣を希望する学校に学習支援者を配置(中学校:3人)したことで、個別に相談や学習支援ができ、不登校など生徒の問題行動の減少につながった。(補導件数:41件減少、不登校･授業態度など10人程度改善)

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
問題行動学習支援者配置数	目　標	（中学校3人）	（中学校3人）	（中学校3人）	（　）	（　）
	実　績		中学校:3人	中学校:3人		
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：･学習支援者を継続的に配置し、さらなる不登校など生徒の問題行動の減少を図る。(現在の状況:問題行動等で係わっている人数30人。授業態度など6人及び月数回の教室以外への登校2人に改善がみられている。)

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・学習支援者配置の要望に対して、人材を確保するのが困難である。 ・対象生徒の生活環境等の改善を含め、外部機関との連携を図るとともに、学校とのつながりを維持する立場としての役割を心がける。	・定期的な活動報告を提出し、指導・助言を仰ぐことにより、支援員としての役割を明確にする。

今後の取り組み方針

・外部機関等を活用し、学習支援員の確保に努める。

・対象生徒を取り巻く環境整備に努め、校内体制の構築、学習支援等の個別計画をもとに支援にあたる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,138	3,825	3,060	765	313

宮古島市
4,138千円

賃金（3人）
4,138千円

（問題行動学習支援員（3人）の賃金）

〔有給休暇分（交付対象外経費）313千円〕

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援者派遣については、本市要綱に基づき審査、決定しており、支出等に関しても適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	９－③	選手派遣補助金交付事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(2)－ア 教育機会の拡充
担当部課名	教育部学校教育課	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)
事業内容	本市児童生徒のスポーツ･文化活動において、地区選抜代表選手として、県大会や全国大会への派遣旅費について補助を行う。				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	5,144	20,355			
	(b)予算現額	7,508	17,581			
	(c)増減額(b-a)	2,364	▲ 2,774			
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	7,508	17,581			
B. 執行済額		5,578	12,595			
うち交付金充当額		4,462	10,076			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		74.3%	71.6%			
予算の状況の説明		･往復航空券の早割購入等により支出が抑えられたことによる減額。				

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
大会等派遣児童生徒数:小学校	目　標	(　636人　)	(　756人　)	(　　)	(　　)
	実　績	658人	680人		
大会等派遣児童生徒数:中学校	目　標	(　1041人　)	(　1239人　)	(　　)	(　　)
	実　績	1229人	1082人		

達成状況説明：･スポーツや文化面で、本市の地区代表選手として派遣される児童生徒(小学校680人･中学校1,082人)に対し、補助金を交付した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
大会等派遣児童生徒数:小学校	目　標	(　840人　)	(　636人　)	(　756人　)	(　　)	(　840人　)
	実　績		658人	680人		
大会等派遣児童生徒数:中学校	目　標	(　1302人　)	(　1041人　)	(　1239人　)	(　　)	(　1300人　)
	実　績		1229人	1082人		

進捗状況説明：･目標を下回った要因としては、団体競技における九州地区や全国大会等への県外派遣数の減少、例年参加している県内大会への不参加があったことにより大会派遣の件数が少なかったことが考えられる。

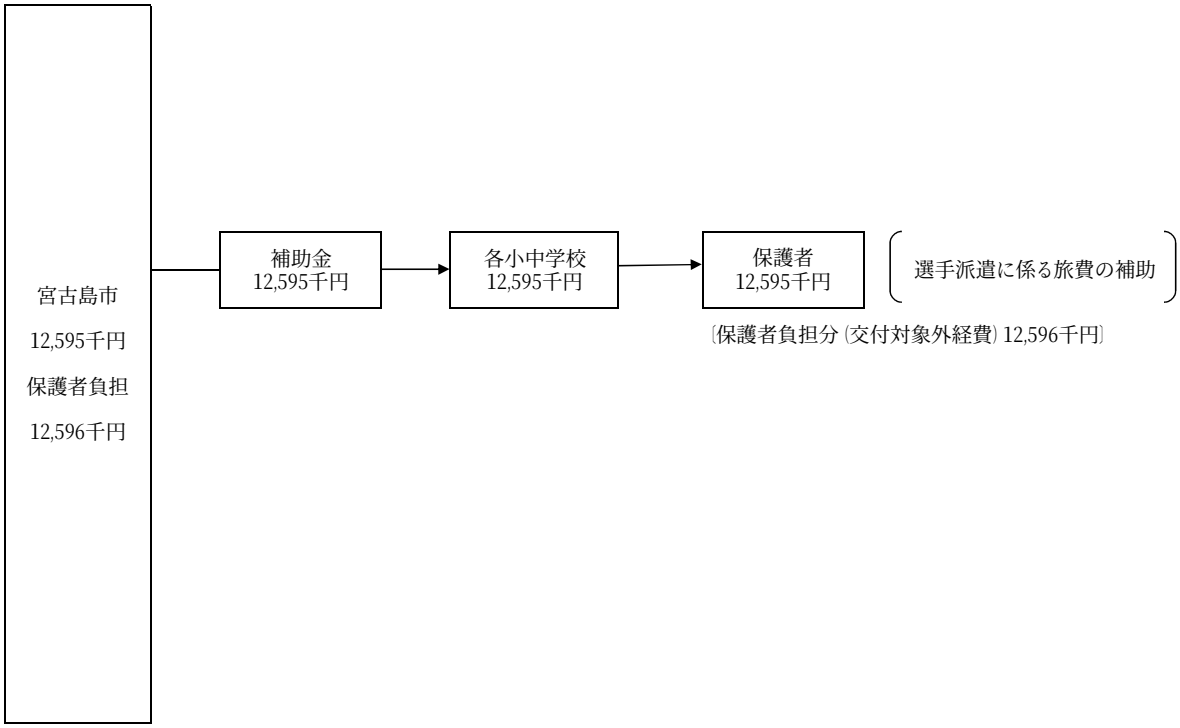
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・島外の大会へ地区代表選手として派遣される旅費の一部を行政が支援する事業については、離島県の離島に位置する本市において、以前から実施また好評を得ている事業であり、推進上の問題はなく、継続実施が望まれている。	・交付申請の事務の流れも各学校へ浸透しており、スムーズな事業運営を図ることが出来ている。

今後の取り組み方針

・児童生徒のスポーツ・文化活動をとおした人材育成の観点や、派遣にかかる費用の保護者負担を軽減するためにも、継続支援していく必要がある。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
25,191	12,595	10,076	2,519	12,596



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本市要綱に基づき審査、決定しており、支出等に関しても適正であった。また、補助金額を内規に基づき決定していることから、保護者との負担関係も妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	９－④	宮古島市こども劇団設立事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(1)－ア 地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成
担当部課名	生涯学習部文化ホール	事業実施(予定)年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(1)

事業内容

こども劇団を設立し、演技を通して児童生徒の人格形成を図りながらコミュニケーション能力を高め、社会性を理解する力を育むと共に、オリジナル作品を発表し、宮古島を表現することで、地域のアイデンティティーを共有し、地域の誇りを伝承する礎とする。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　■その他（事業費　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	6,126	15,805			
	(b)予算現額	6,126	15,805			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	0			
	A．計(b+d)	6,126	15,805			
B．執行済額		6,076	14,443			
うち交付金充当額		4,861	11,554			
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.2%	91.4%			

予算の状況の説明

予算執行率良好で、事業計画に沿った活動ができた。また、事業に伴う効果が顕著に表れ、劇団員個々の成長を確認することができた。予算執行にあたっては、最小限の支出を念頭におこなった。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
オリジナル創作劇の発表　1回	目　標	(　1回　)	(　)	(　)	(　)
	実　績	1回			
	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績				

達成状況説明

オリジナル創作劇によって宮古島を表現することで、地域のアイデンティティーを共有すること、また地域の誇りを伝承する礎にする。その試みは期待を越える反響を得ることができた。 アンケートの中に、「宮古島を誇りに思う(10代)」など団員と同世代にも、理解と共感を感じてもらえた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(　年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(　年度)
オリジナル創作劇の発表会の入場者数	目　標	(　)	(　800人　)	(　)	(　)	(　)
	実　績		988人			
【参考指標】	目　標	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実　績					

進捗状況説明

目標の８００人を上回る結果を得られた。今後は、学校などと連携し、多くの児童生徒に鑑賞できる機会を増やしていきながら、団員や父母に対し、地域のアイデンティティーを表現することの意義を丁寧に伝え、一人でも多くの方々に、地域を愛する普遍的な事柄を伝承できるよう活動を続けていく。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	概ね事業の推移は良好である。目的意識を持つよう団員に指導しているため、団員の自覚も活動回数を重ねることに備わっている。　父母会の連帯も同様に良好である。 活動目標が演劇活動であることから、年間を通しての稽古が不可欠である。しかし、稽古をする場所の確保が難しいため、専用の稽古場を確保できる環境づくりを検討することも課題である。	初回のオリジナル創作劇を発表したが、設立して間もないことから、団員の演技力に力不足がある。地元に演劇環境がないため、実践的な演劇人によるワークショップを取り組むなどし、劇団員の表現力の向上を図りたい。

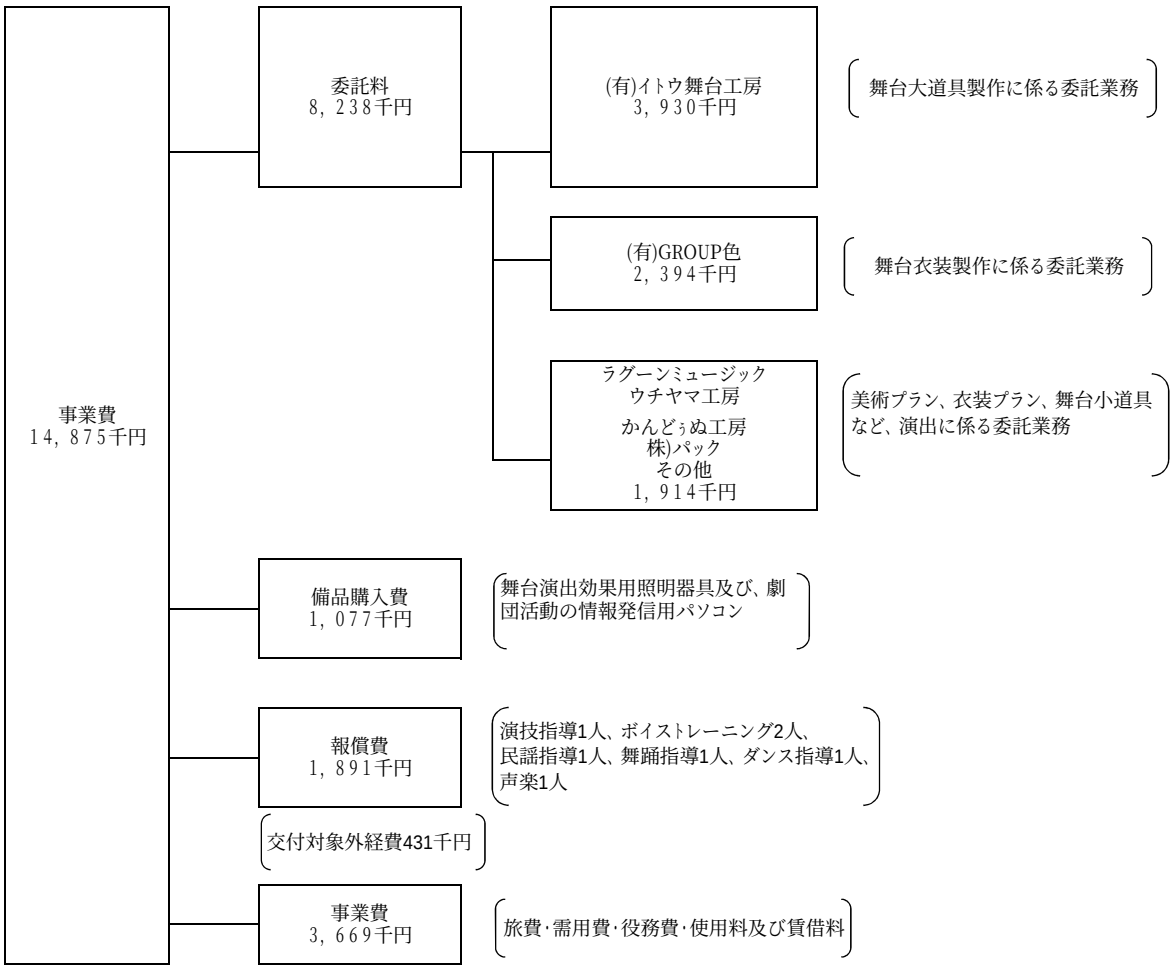
今後の取り組み方針

■劇団員や父母に対し、地域のアイデンティティーを表現することの意義を丁寧に伝え、一人でも多くの方々に、地域を愛する普遍的な事柄を伝承できるよう活動を続けていく。

■26年度は東京公演を実施し、宮古島の発信を行う。
■27年度からは父母会に運営を移行し、本市は劇団自立の支援を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
14,875	14,443	11,554	2,889	431



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業内容が舞台総合芸術の演劇で独特な環境なことから、舞台制作の円滑を鑑み、随契とし業者の特定することで舞台表現のクオリティーを高める事が出来た。 ○事業内容は計画通り執行され適正な予算規模であった。 ○費目・使途については事業推進に必要とされるものを考慮し、適正な支出に努めた。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	10-①	地下水保全事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章－3－(4)－エ
					生活圏の充実
担当部課名	上下水道部水道総務課	事業実施(予定)年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(1)

事業内容

本市の水道水源流域のうち、最も重要な白川田･東添道地下水流域は、その北側において隣接する他の地下水流域との境界が不明瞭であるので、電気探査･ボーリング調査等を実施し、厳正な地下水保全を図るべき地域を明らかにする。また、これにより地下水の流域面積が明らかになり、そこでの地下水貯水量を正確に推定するため、降水の何%が地下水になるのかを明らかにするための蒸発散量調査も併せて行う。これらの流域保全調査が完了した後、水道水源保全地域であることを示し地下水保全を呼びかける啓発のための表示版を設置する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a)当初予算額	24,267	99,960			
	(b)予算現額	24,267	99,960			
	(c)増減額(b-a)	0	0			
	(d)繰越額	－	－			
	A. 計(b+d)	24,267	99,960			
B. 執行済額		24,267	99,960			
うち交付金充当額		19,413	79,968			
次年度繰越額		0	0			
執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			

予算の状況の説明：予算の全額は委託料に充てられ、適正に執行された。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
･東添道及び白川田水道水源流域調査の実施	目　標	（調査実施）	（調査実施）	（　）	（　）
	実　績	調査実施	調査実施		
･第3次宮古島市地下水利用基本計画改定案の策定	目　標	（－）	（改定案策定）	（　）	（　）
	実　績	－	改定案策定		

達成状況説明：平成24年度から引き続いて東添道及び白川田水道水源流域の調査を実施し、流域境界線の見直し、地下水貯水量の見直し、塩水化リスクの評価等を行った。その結果に基づき、第3次宮古島市地下水利用基本計画(平成23年3月)の改定案を策定した。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値(22年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(　年度)
第3次宮古島市地下水利用基本計画改定案の策定	目　標	（　）	（改定案策定のための調査）	（改定案策定）	（計画改訂版発効）	（　）
	実　績		改定案策定のための調査	改定案策定		
【参考指標】第3次宮古島市地下水利用基本計画の改定	目　標	（第3次計画策定）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：平成24～25年度にかけて実施した調査結果に基づき、第3次宮古島市地下水利用基本計画(平成23年3月)の改定案を策定した。この改定案は、宮古島市地下水保全条例に基づき、平成26年度中に正式の改定版として発効するよう手続きを進める予定である。

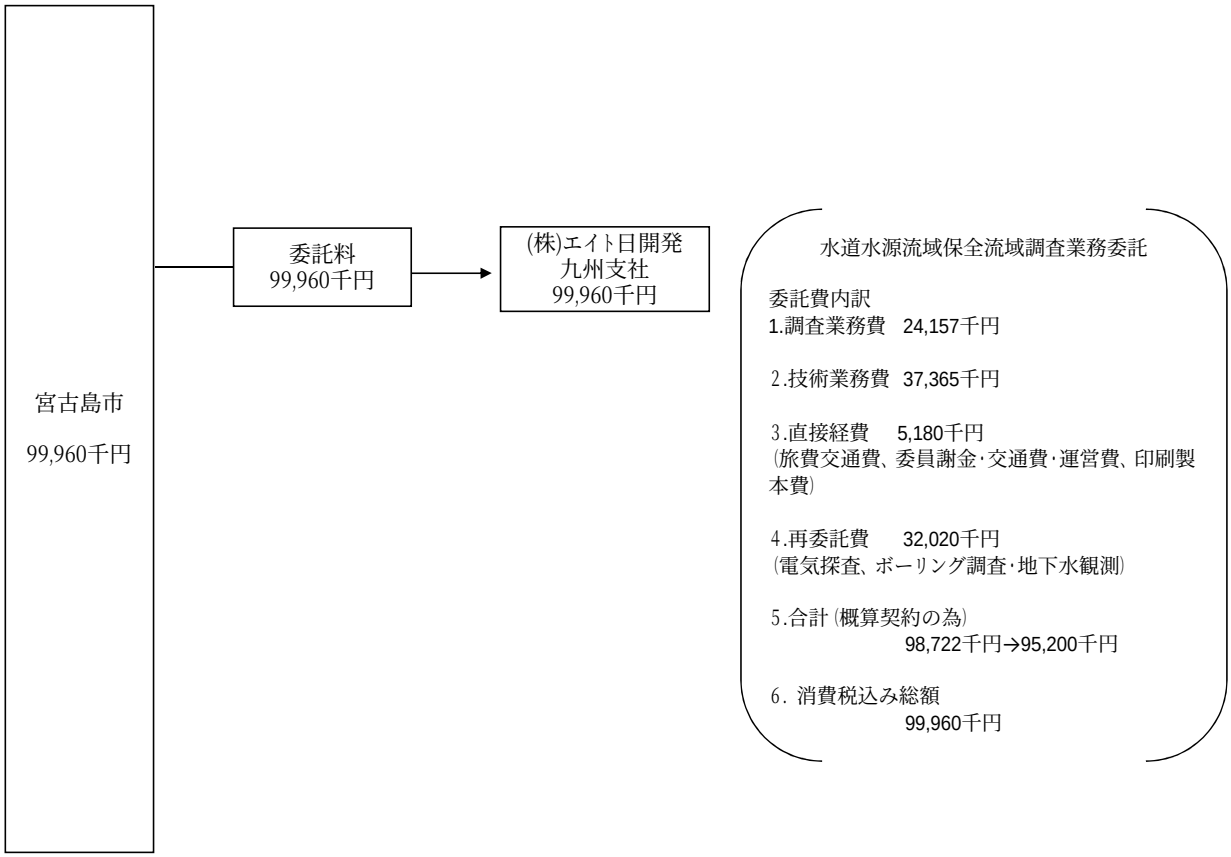
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	調査業務推進上の留意点 平成２５年度調査業務にて、白川田水源（湧水）の湧水口付近に推定される地下水脈が大きな空隙になっている可能性が指摘された。本事業の成果目標には直接影響しないが、地下水脈中の空隙が崩落した場合、湧水量が激減する恐れがあるため、空洞の大きさや地質的構造、崩落リスクについて明らかにし、保全対策の要否について検討する必要がある。	左記の留意点を踏まえ、平成27年度以降に白川田水源（湧水）の空隙調査が実施可能であれば、詳細な調査と保全策を検討し、その結果によっては地下水利用基本計画に反映させる。

今後の取り組み方針

平成25年度にとりまとめた第3次宮古島市地下水利用基本計画の改定案は、宮古島市地下水保全条例基づき、公共的地下水利用施設との事前協議、宮古島市地下水審議会への諮問、ならびに市議会承認が必要となっているので、平成２６年９月議会での承認、正式発効をめざす。正式発効した後に、同計画の印刷・公表、並びに水道水源流域の表示板設置を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
99,960	99,960	79,968	19,992	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名型プロポーザル方式により、企業組織、実績、知識、提案内容を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模・事業内容は、専門家の指導・監督の下精査されており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１１－①	博物館図録等作成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－エ 文化活動を支える基盤の形成
担当部課名	生涯学習部　総合博物館	事業実施(予定)年度	平成24年度～平成28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)

事業内容

本市の博物館には、約8，000点に及ぶ資料が収蔵されており、資料の幅広い活用を図るため収蔵資料を整理しデーターベース化、デジタル化し図録を作成する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況 (a)当初予算額	3,582	4,584			
予算の状況 (b)予算現額	3,582	4,584			
予算の状況 (c)増減額(b-a)	0	0			
予算の状況 (d)繰越額	－	－			
予算の状況 A．計(b+d)	3,582	4,584			
B．執行済額	3,264	4,188			
うち交付金充当額	2,611	3,350			
次年度繰越額	0	0			
執行率（%）(B/A)	91.1%	91.4%			

予算の状況の説明：不用額は勤務日数の調整による残であり、事業内容の執行も当初計画どおり概ね適正に実施できた。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
「宮古島市の歴史資料編」の目録等作成に係る資料整理･データーベース化	目　標	（　）	（資料整理･データベース化）	（　）	（　）
	実　績		資料整理･データベース化　完了		
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：目録等の作成に向け、博物館に収蔵されている歴史資料の整理とデーターベース化を完了させた。その結果、資料の確認や問合せやなど、来館者への対応がスムーズに行われまた、この目録を通じて宮古島独自の文化や歴史の違いなど目録を関係機関へ配布することで情報の共有、発進、目録で分かる言語や習慣の違いなど、教育では目録をとおして風土や地域を紹介することができた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
目録等作成500部	目　標	（　）	（400部）	（500部）	（　）	（　）
	実　績		400部	300部		
データーベースの整備率	目　標	（　）	（20%）	（40%）	（　）	（　）
	実　績		20%	40%		

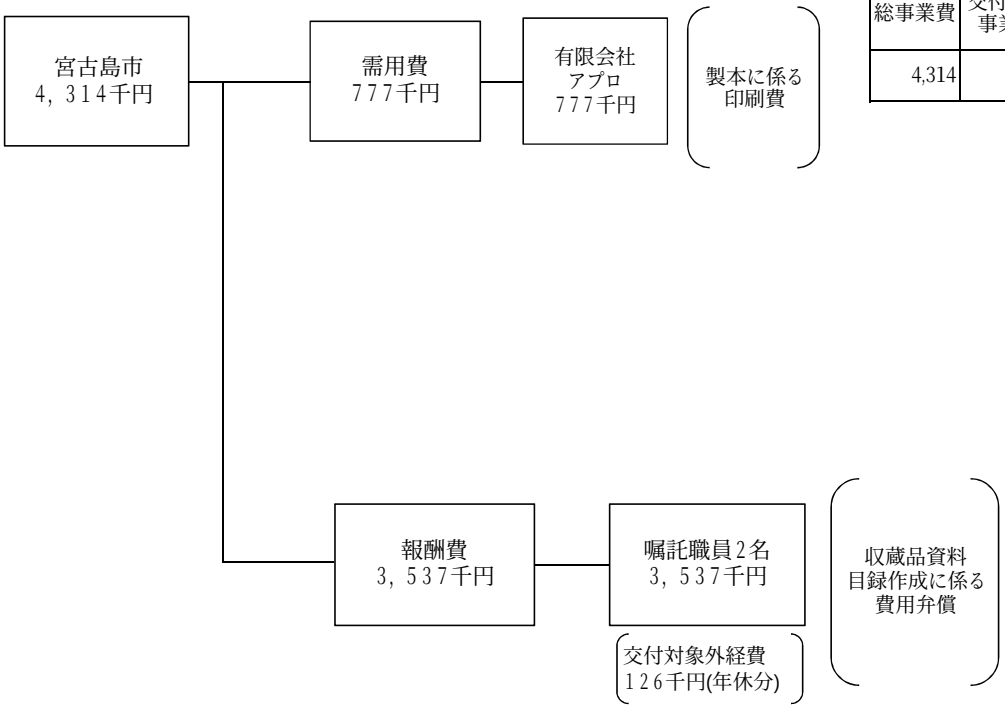
進捗状況説明：掲載する写真、資料等が増えたため、作成料の単価があがり、作成(目標部数)は困難になったが当初計画の目録資料よりも内容を高めた目録を作成することができた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	寄贈された資料の数がどれだけ保管されているか手探りの状態にある。これらを登録、整理保存には時間を要する為、その検証を含む専門的知識を有する人材を確保する必要がある。	図録等の作成には、効率的に作業ができるよう専門的知識を有した嘱託職員の人材確保。

今後の取り組み方針

関係機関へ配布し、宮古島市の貴重な資料としての活用が図られた。図録等をもとに常設展示されている展示品の入れ替えを行いながら入館者数を増やしたい。目標15，000人また、今後予定している図録作成に向け引き続き、「民俗資料編」の図録作成に向けて作業を行う嘱託職員を確保する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）



総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,314	4,188	3,350	838	126

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は印刷を専門とする業者で、選定にあたっては規則等も遵守されており契約は適正といえる。 ○報酬については、市総合博物館嘱託規程に基づき適正に支出されている。 ○事業目標を達成しており予算規模は適正であった。 ○予算は事業目標達成に、必要な委託費･報償費に限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目･使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市

平成２５年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１１－②	地域色豊かな精神事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(4)－エ 文化の発信･充実
担当部課名	生涯学習部　総合博物館	事業実施(予定)年度	平成25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－3－(2)

事業内容

本市特有の御嶽を、島内外に発進しながら観光資源としての活用を図り博物館の機能を強化する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位:千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
予算の状況	(a)当初予算額	3,684				
	(b)予算現額	3,684				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	－				
	A. 計(b+d)	3,684				
B. 執行済額		3,675				
うち交付金充当額		2,940				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.8%				

予算の状況の説明：不用額は入札残であり、事業内容の執行も当初計画どおり概ね適正に実施できた。

活動目標(指標)及び達成状況

H25活動目標(指標)		達成状況 25年度	26年度	27年度	28年度
宮古の代表的な御嶽を30箇所映像と音声で紹介するための御嶽映像コンテンツの制作	目　標	（御嶽映像コンテンツの制作）	（　）	（　）	（　）
	実　績	御嶽映像コンテンツの制作完了			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：宮古の独特の文化でもある、御嶽と祭祀30箇所を映像コンテンツ制作したことで実際にその場所を訪ねたり、また立ち入ることのできない御嶽など博物館内で各地域独特の文化を一同に映像で見ることができ祭祀行事に関心を持つ観光客が増えた。

成果目標(指標)及び進捗状況

H25成果目標(指標)		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
宮古の代表的な御嶽を30箇所映像と音声で紹介するための、御嶽映像コンテンツの制作完了	目　標	（　）	（御嶽映像30箇所のコンテンツの制作完了）	（　）	（　）	（　）
	実　績		御嶽映像30箇所のコンテンツの制作完了			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：宮古の御嶽と祭祀の映像30箇所をコンテンツ化制作を完了し、博物館で活用することで、宮古の御嶽や祭祀などの行事に興味や関心を持ちさらに文化を守る意識が高められる。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	撮影許可など各地域の代表者との交渉に時間を要した。	撮影について、祭祀行事の日程や御嶽の場所など調査を行う必要がある。

今後の取り組み方針

御嶽の映像コンテンツを、観光客や市民など多くの方が来館するようH24年度に導入した、「おもしろ博物館」「地下水コーナー」「台風コーナー」「パーントゥー」の映像と合わせ宮古島市HPを活用し宮古の文化を広く紹介しながら入館者を増やして行きたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,675	3,675	2,940	735	0

宮古島市 3，675千円 ― 委託料 3，675千円 ― 宮古テレビ株式会社 3，675千円 （館内映像設備の設置に係る委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○随意契約により委託先を選定しているが、委託先は長年にわたり本市で番組制作を行っておりその情報は貴重映像など多く保有している業者である為、選定方法は妥当である。 ○今年度計画した事業は全て執行しており、適正な予算規模である。 ○経費についても、一件書類を確認した結果適正だった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	